

書翰の部

・ 広沢真臣宛書翰

- 一、 秋月種樹書翰
 - 1 明治三年五月二七日 招宴礼状 清浦
 - 2 明治三年十一月二〇日 寺院寮人選 大木喬任
 - 3 明治三年十二月三日 寺院禄制取調所管ニツキ意見 大橋慎
 - 4 明治三年十二月二日 寺院ノ儀ニツキ来訪依頼 林・長松幹
 - 5 明治四年一月八日 招待応諾
- 二、 青山貞書翰
 - 1 明治 年 月五日（青山小三郎署名）毛利公京府出勤断リノ件承知
- 三、 坊城俊正書翰
 - 1 明治 年三月二二日 江川某ヨリノ伺書廻送
- 四、 伊達宗城書翰
 - 1 明治二年十二月一日 官禄給石代相場早急布告希望 土肥謙蔵・田安慶頼ヨリノ書付披見 賞典発令延引理由問合セ
 - 2 明治三（力）年正月二七日 西本願寺歎願ノ件了承 三田葆光・島兩人明後日本省出頭 大隈重信
 - 3 明治 年 月五日 進退伺中ニツキ不参通知
- 五、 土肥実匡書翰
 - 1 明治 年六月二七日（土肥謙蔵署名）輔相公ヨリ内命ノ儀ニテ面会打合セ
- 六、 後藤象二郎書翰
 - 1 慶応四年二月二〇日 堺事件取調ニツキ協議 木戸孝允
- 七、 萩野省一書翰
 - 1 慶応四年七月二一日 奥羽戦況報告 並ニ増兵要請
- 八、 土倉正彦書翰
 - 1 慶応四年五月五日（修理亮署名）徴士・参与免職後ノ進退指示懇請
 - 2 明治 年二月二四日（〃）某件尽力依頼
- 九、 蜂須賀茂韶書翰
 - 1 慶応四年五月四日 租税ノ儀評議ニツキ参朝催促
 - 2 明治二年四月二五日 岩村高俊仕官ノ件
 - 3 明治二年四月二八日 面会打合セ
 - 4 明治二年四月二九日 御用参朝依頼
 - 5 明治二年五月七日 岩代巡察使人事 林栄次郎・成田八九郎・林轍之丞・板垣退助・平松時厚
 - 6 明治二年五月九日 岩代巡察使人事
 - 7 明治 年四月一日 面談依頼
 - 8 明治 年四月二五日 参朝面談依頼
 - 9 明治 年四月二六日 輔相公ヨリ参朝命令報知
 - 10 明治 年一月一九日 訪問取止メ詫状
 - 11 明治 年一月一九日 来宅依頼
- 一〇、 林厚德書翰
 - 1 明治 年一月二日 府藩知事参集酒宴招待
 - 2 明治 年一月七日 昨夕大醉詫言 宮様重病 後刻参上通知
- 一一、 林太仲書翰
 - 1 年 月二日 今後ノ辱知ヲ願イ印筆進呈
- 一二、 東伏見嘉彰書翰
 - 1 明治二年二月二七日（兵部卿署名）病氣見舞 要件間取依頼
 - 2 明治 年七月六日（〃）時候挨拶礼状
 - 3 明治 年八月五日（〃）来宅都合問合セ
- 一三、 東久世通禧書翰
 - 1 明治二年六月三日 中下大夫収納目録・領地目録ノ件 江川葦山知県事更任不可 松平慶永
 - 2 明治二年六月一日 北海道赴任離別宴招待 木戸孝允
 - 3 明治二年六月二九日 陸奥宗光ヲ兵庫知事ニ推挙
 - 4 明治三年九月二九日 平原平右衛門ニ小樽郡問屋株式申付 岩村定高等開墾ノ件ニテ上京通知
- 一四、 檢了助書翰
 - 1 年八月四日 牧山讓助脱藩事情 同人世話依頼 木戸孝允
- 一五、 平川某書翰
 - 1 明治 年二月一八日 贈品礼状
 - 2 年 三月一日 面会都合問合セ他
- 一六、 平松時厚書翰
 - 1 明治二年五月八日 岩代巡察使任命ノ件ニテ相談申入
 - 2 年五月三〇日 今夕集会出席承諾
 - 3 年六月一日 招宴礼状
 - 4 年八月一七日 国分五郎ニツキ照会依頼
- 一七、 堀右京亮書翰
 - 1 年四月二四日 面会礼状
 - 2 年四月二六日 礼状
 - 3 年六月一七日 暑中見舞
 - 4 年九月一日 在京家臣交代ノ件
- 一八、 福羽美静書翰
 - 1 明治 年五月五日 競馬誘合セ 先日内談ノ件至急評決希望
 - 2 明治 年五月二日 楠公祭朝廷ニテ挙行スベク意見
- 一九、 池田慶徳書翰
 - 1 明治 年 月三日 年賀状
- 二〇、 入江宗紀書翰

- 1 慶応四年三月一七日 広沢真臣・木戸孝允二面会依頼 島村志津摩
- 2 慶応四年三月二〇日 面会延期 当藩人数関東援兵二繰出ノ件周旋礼状
- 二一、 岩倉具視書翰
 - 1 明治二年二月一八日 キリスト教徒処分問題各国公使トノ談判平穩経過ヲ報知
 - 2 明治三年一月一八日 前原一誠長州行御沙汰期日取計依頼 (京都) 弾正台早急引上げ同意
 - 3 明治 年正月二日 西納屋願ノコト配慮依頼
 - 4 明治 年六月二日 面会依頼
 - 5 明治 年八月二日 渋滞事務促進方依頼 三条実美・沢宣嘉
 - 6 明治 年一〇月八日 バークス公邸懇望ノ件
- 二二、 門脇少造書翰
 - 1 明治 年 月四日 申越ノ件官長へ上申
- 二三、 柏村数馬書翰
 - 1 明治三年三月一六日 干城隊仏式伝習上阪二ツキ士族一統ヨリノ希望 中谷市左衛門・佐田秋輔
 - 2 明治三年六月一日 息子修学世話感謝 長州脱走兵追捕状況報知
 - 3 明治三年一〇月四日 普仏戦争感想 長州藩政改革軍備強化ノ件 脱退騒動
 - 4 明治三年一〇月一七日 藩政改革 官員減少 藩債処分 兵備
 - 5 明治三年一〇月一九日 息子仏国留学生ニ採用尽力感謝 脱走兵追捕状況報知
 - 6 明治三年十一月一九日 討薩論 九州諸藩動向 脱走兵動静 岩倉具視・三条実美
 - 7 明治四年正月七日 岩倉具視山口着報知
 - 8 明治 年七月一八日 杉民治世話依頼 息子修学方針
 - 9 明治 年十一月一九日 河村梅之進へ説諭依頼
- 二四、 柏村庸三書翰
 - 1 明治三年一〇月四日 出帆挨拶
- 二五、 加藤源太夫書翰
 - 1 明治 年三月一日 国方差留免除幹旋懇請 木梨精一郎
- 二六、 木梨精一郎他書翰
 - 1 慶応四年二月二七日 土州今坂某大猪川架橋賞讃 総督府近江湖水舟改ノ件
- 二七、 北小路俊昌書翰
 - 1 明治二年七月二七日 伊那県知事拜命二ツキ引受条件申出
- 二八、 古志某書翰
 - 1 年四月一六日 すみや会合打合せ寺内暢三
- 二九、 久我通久書翰
 - 1 明治三年七月二日 徴兵大隊司令ヲ兵部省奏任出仕トスルコトニ異議甲立 前原一誠・河村純義
 - 2 明治三年二月三日 辞職願世話礼状 留学抱負
 - 3 明治三年二月三日 洋行ノタメ辞職二ツキ周旋感謝
 - 4 明治三年二月三日 免官洋行許可礼状 三浦
 - 5 明治三年二月五日 辞職官邸返上
 - 6 明治 年一〇月一五日 水野十郎兵部省奏任出仕希望 尽力依頼
 - 7 明治 年一二月八日 断髪可否伺
- 三〇、 槇村正直書翰
 - 1 明治 年正月二日 (井上宗右衛門・槇村半九郎連署) 臨時給与金通知
 - 2 明治 年二月二七日 (槇村半九郎署名) 臨時給与金ノ件
- 三一、 万里小路通房書翰
 - 1 明治 年九月八日 練兵見学勧誘
- 三二、 松田道之書翰
 - 1 明治 年五月一三日 (松田正人署名) 明日広沢元東町奉行所出勤ノ件打合
 - 2 明治 年八月一七日 (松田正人・青山小三郎連署) 褒賞一件取掛報知
 - 3 明治 年八月二六日 (松田正人署名) 馬具覆拝借願
 - 4 明治 年九月七日 (松田正人・青山小三郎連署) 仰越ノ趣了承
 - 5 明治 年 月一六日 (松田正人署名) 宿醉遅参通知
- 三三、 松平慶永書翰
 - 1 明治二年五月一五日 雑件連絡
 - 2 明治二年五月一八日 病氣ニテ操練拝観不参 明日民部官人事相談 津田正臣・中村弘毅・林栄二郎
 - 3 明治二年六月一日 槇村正直ヨリ広沢宛 書状回送
 - 4 明治二年六月二日 府県奉職規則・県職制急ギ決定要請 岩倉具視・徳大寺実則・東久世通禧・津田
 - 5 明治二年六月二日 病氣不参通知 租税一件大隈返事問合セ 府県職制・松方正義褒賞書付ノ件徳大寺実則へ催促依頼
 - 6 明治二年六月四日 病氣不参通知 清岡公張処分意見
 - 7 明治二年六月二〇日 民部官人事 有村壯一・杉井清陰
 - 8 明治二年七月一日 徳川家達家臣関口間輔紹介状 租入米下附歎願ノ件
 - 9 明治二年七月八日 (虫喰文意不明)
 - 10 明治二年七月一六日 府県奉職規則回附添状
 - 11 明治二年七月二五日 聴訟規則書編纂慰勞 英国王子参朝無事敬賀 岩倉具視二王子ト対面依頼 民部省人事 玉乃世履・野村
 - 12 明治二年七月二六日 盤城国転封ノ件 民部省各司規則・沢村一件尽力依頼 津田
 - 13 明治二年七月二七日 英国王子警衛方法 日田県へ墮胎捨子禁止ノ達申渡ノコト報知
 - 14 明治二年七月二九日 英国王子滞在中警衛ノ件 押小路所業 奥羽新県設置・駅逓官不正
 - 15 明治二年八月四日 勝安芳外務大臣辞退ノ情実同人ヨリ聴取依頼 山岡鉄太郎
 - 16 明治二年八月八日 民部・大蔵合作不賛成 按察使判官以下私行二関スル広沢意見ニ同意 大隈重信・坊城俊草
 - 17 明治二年八月一〇日 民部大蔵合作意見 退職希望
 - 18 明治二年八月一六日 外務卿・開拓使長官辞退 民・蔵合作関連人事 玉乃世履・林栄二郎・中村弘毅
 - 19 明治二 (力) 年八月一八日 本日参朝セズ 大隈重信
 - 20 明治二年八月二四日 民蔵合併後ノ慶永職席内報依頼
 - 21 明治二年八月二八日 民部省人事林栄二郎・中村弘毅進退 大学紛争 同人事二ツキ意見 丸山作楽学校論採用不可 福羽美静・土方久元・秋月種樹
 - 22 明治三年六月一七日 大学紛争二ツキ広沢ニ援助依頼 仙石政固
 - 23 明治三年二月二六日 鴨一番進呈 藩ノ儀二ツキ周旋ヲ謝ス 友田
 - 24 明治 年正月二日 来訪依頼
 - 25 明治 年正月八日 訪問通知
 - 26 明治 年二月二日 豊岡・沢・松岡等転官ノコト尽力依頼

- 27 明治 年五月二三日 先刻相談ノ件ニツキ参朝面談打合セ 岩倉具視・徳大寺実則
- 28 明治 年六月二五日 参朝依頼 徳大寺実則
- 29 明治 年 月 日 田安・一橋両家家禄ノ件問合セ
- 三四、壬生基修書翰
 - 1 明治 年五月二四日 三条西邸訪問承諾
 - 2 明治 年一一月一九日 開拓使人事
- 三五、水野某書翰
 - 1 明治年四月一三日 (虫喰文意不明)
- 三六、三浦梧楼書翰
 - 1 明治三年一二月二九日 信州出兵 借金依頼
- 三七、森寺常德書翰
 - 1 慶応四 (力) 年二月二八日 英国公使へ贈与ノ織物代金
 - 2 明治二 (力) 年三月七日 毛利敬親入来ニツキ来宅依頼
- 三八、長松幹書翰
 - 1 明治 年六月二七日 (笠原某共宛) 招待承諾ノ件 卿権大史招待不要
- 三九、西四辻公業書翰
 - 1 明治 年一一月三日 面会依頼取消
- 四〇、丹羽某書翰
 - 1 年一月二一日 (虫喰文意不明)
- 四一、小原是水書翰
 - 1 慶応四年五月五日 (小原忠寛署名) 会計官人事 由利公正・小松帯刀
 - 2 慶応四年五月六日 東征参加周旋依頼
 - 3 慶応四年五月一〇日 楮幣ノ件 発行決定ノ上ハ異議申立ズ 岩倉具視・池辺
 - 4 慶応四年五月二一日 小原進退 後輩井田讓任官周旋依頼 同人人物評
 - 5 慶応四年五月二七日 小原進退
 - 6 慶応四年六月二〇日 帰国療養 (大垣) 藩家老等朝廷へ差出ノ件
 - 7 明治 年四月二二日 招待承諾
 - 8 明治 年九月九日 柏亭雲州藩士招会
 - 9 明治 年 月一三日 面会依頼
- 四二、大木喬任書翰
 - 1 明治三年一二月一〇日 浦上耶蘇教徒東京府下収容場所協議
- 四三、大久保利通書翰
 - 1 年三月一八日 面会打合セ 三条実美
 - 2 明治 年一〇月三日 岩倉具視ヨリ面会依頼通知
 - 3 明治 年一〇月晦日 人事協議 徳大寺実則
 - 4 明治 年 月一日 雑件返書 木戸孝允・岩倉具視
- 四四、大谷光尊書翰
 - 1 明治二年七月一六日 西本願寺中古以来勤王追賞尽力依頼 菊御紋改メノ件再考懇請
 - 2 明治三年七月九日 耶蘇教浸潤防止意見 渡辺昇
 - 3 明治三年八月六日 破邪 (耶蘇教) 飽迄尽力ノ積リ
 - 4 明治三年八月二八日 帰京挨拶 大州鉄然上京世話依頼
- 四五、嵯峨実愛書翰
 - 1 明治 年二月一八日 刀剣代金受取
 - 2 明治 年 月 日 刀剣入手受取廻送
- 四六、斎藤素軒書翰
 - 1 年二月六日 井筒楼集会招待
 - 2 年二月二六日 明夕外出都合伺
 - 3 年二月二七日 井筒楼会合場所変更
 - 4 年四月六日 自藩ノ件尽力感謝 井筒楼枉駕依頼 木戸孝允・寺内
 - 5 年五月六日 挨拶状
 - 6 年六月二六日 井筒楼来臨 閑談希望 寺内暢蔵へ伝声依頼
 - 7 年七月二九日 藩士同伴面談打合セ
 - 8 年八月一八日 元次郎上京面会依頼 木戸孝允
- 四七、三条実美書翰
 - 1 明治二 (力) 年五月二五日 会計尽力慰勞 前途協議ノタメ明朝来邸依頼
 - 2 明治二年七月二一日 参議就任懇望
 - 3 明治二年九月二八日 耶蘇教徒処置ニツキ大蔵・外務両省へ内談必要 同伴大隈重信ト談合依頼 渡辺昇
 - 4 明治二年一〇月一六日 山尾庸三工部院奉職説諭依頼 鹿兒島耶蘇教徒処分意見
 - 5 明治二年一二月八日 耶蘇教徒護送・隔離ニツキ意見 上山鱗蔵
 - 6 明治二 (力) 年一二月二一日 渡辺昇ヨリノ報知回覧
 - 7 明治二年 月 日 耶蘇教一条談合集会 渡辺昇
 - 8 明治二 (力) 年 月 日 伝信機取建民蔵両者へ下達 出納勘定帳面政府へ差出指示
 - 9 明治三年二月一七日 林友幸帰藩命令報知
 - 10 明治三年六月六日 (副島種臣共宛) 英国公使ヨリ一同集会申越ニツキ出会可然ノ旨岩倉具視二申入
 - 11 明治三年八月八日 贖札罪人説諭立合依頼 同伴東京府・弾正台関係 黒田清綱
 - 12 明治三年八月九日 歩兵解隊論意見 回件兵部省内動向探知依頼 奥羽へ参議出張ノ件 佐々木高行・渡辺清・河村純義・船越衛
 - 13 明治三年八月一一日 歩兵解隊論意見 兵部省内論 山県有朋処遇 大久保一翁・津田真道等人材登用希望 川村純義・船越衛
 - 14 明治三年九月六日 民蔵分離問題意見 同伴民部地方官ニ商議希望
 - 15 明治三 (力) 年一〇月二九日 太政官小弁人事ニツキ意見 西本正道・多久茂族・内田政風
 - 16 明治三年 月 日 民蔵分離問題大木喬任意見ニテ発表延期ノコト申入
 - 17 明治 年五月一五日 来訪依頼
 - 18 明治 年六月二五日 来訪依頼
 - 19 明治 年七月四日 明朝参朝依頼
 - 20 明治 年一一月二六日 軸物進呈
 - 21 明治 年一二月二二日 家政改革ニツキ家令雇入世話依頼
 - 22 明治 年 月 日 来訪依頼
 - 23 明治 年 月 日 (文意不明)

- 24 明治 年一二月一八日 家令雇入世話礼状家政改革見込 世上人心不安
- 四八、 三条西季知書翰
 - 1 明治 年五月二三日 出願承知
 - 2 明治 年五月二八日 招宴礼状
 - 3 明治 年七月九日 美菓受納礼状
- 四九、 沢宣嘉書翰
 - 1 明治三年一二月一八日 仏語堪能者採用要請
 - 2 明治 年五月二三日 訪問通知
- 五〇、 穴戸磯書翰
 - 1 明治 年二月二三日 長松幹政府向相談ノ作
 - 2 明治 年 月二三日 長松幹ヨリ返答ノコト
- 五一、 四条隆平書翰
 - 1 明治三（力）年二月一五日 会津近況 贖札取締困難ノ状況報知
- 五二、 多久茂族書翰
 - 1 明治三年正月九日 金銀貨改鑄ノ件
- 五三、 戸田忠至書翰
 - 1 明治 年六月四日 御馬方ノ件書面ノ趣承知
- 五四、 徳大寺実則書翰
 - 1 明治二年七月一〇日 書面ノ趣承知
 - 2 明治二年七月一〇日 金札弘通ヲ渚藩へ要請 三陸巡察使出発
 - 3 明治二年八月二三日 書類回覧添状
 - 4 明治三年二月九日 刀剣購入
 - 5 明治 年六月二一日 地方官・区画異動 久保無二三
 - 6 明治 年六月二五日 明日出勤依頼
- 五五、 津田橋二書翰
 - 1 明治 年 月二六日 近況報知
- 五六、 辻将曹書翰
 - 1 慶応四年七月一八日 府県制度一新二ツキ意見
- 五七、 山田顕義書翰
 - 1 明治三年三月二三日 広沢帰国二際シ進言条々 薩長関係調整 大村益次郎支持 大久保・木戸・西郷・黒田・吉井・山県
- 五八、 山田鋪三郎書翰
 - 1 明治二年八月二一日 贖金製造取締
- 五九、 山口尚芳書翰
 - 1 年三月一八日 面会依頼
- 六〇、 山本実書翰
 - 1 慶応四年四月四日 高橋藩士来宅二ツキ広沢二来訪依頼
 - 2 慶応四年四月二五日 水野藩士遊学上京二ツキ指図依頼
- 三、 横山真美書翰
 - 1 年七月一二日 美菓・生魚券惠贈礼状
- 六二、 吉田某書翰
 - 1 年七月五日 書翰落手
- 六三、 吉井友実書翰
 - 1 慶応四年五月一八日 高田・尾州・真田三藩戦況報知
- 六四、 差出人不詳書翰
 - 1 慶応四年四月一五日（正治署名）遊宴都合問合せ
 - 2 慶応四年七月二九日 戊辰戦争越後戦況報知
 - 3 明治元年九月二一日 旅中安穩祈念 杉孫七郎
 - 4 明治二（力）年一二月二九日 学校人員減少始末 西京大校見合せ府学タルベキコト意見
 - 5 明治 年三月二日 山内容堂来庵二ツキ来訪勧誘
 - 6 明治 年四月四日 面会依頼
 - 7 明治 年四月二八日 面会延期依頼
 - 8 明治 年五月九日 加賀藩朝献米一件二テ大阪行 園田・北川官吏採用周旋依頼
 - 9 明治 年七月二二日 西下勅許斡旋希望
 - 10 明治 年一二月一二日 雑件
 - 11 明治 年一二月二四日 挨拶状
 - 12 明治 年 月 日 来訪依頼 大久保利通・神山郡廉
 - 13 明治 年 月 日 林太仲紹介状
 - 14 明治 年 月 日 招待不参通知
 - 15 明治 年 月 日 招宴断リ状
- 広沢真臣書翰
 - 六五、 柏村数馬宛書翰
 - 1 明治三年一〇月四日 柏村庸之允仏国留学二ツキ感慨 長州脱隊騒動全員鎮圧ノ件 官員入札精選ヲ期待 前原一誠帰省二ツキ注意
 - 2 明治三年一二月七日 借財返済・留守家族世話礼状
 - 3 明治三（力）年一二月一五日 知事家禄ヲ学校費へ充当・外人教師雇入等教育問題所見 福沢諭吉・山県有朋・山田顕義・野村清
 - 4 明治三年一二月五日 討薩論・維新有功藩処遇二ツキ意見 日田暴動鎮圧所見 長州藩政改革促進勧告・外人雇教師傷害 長州出京学生行状 大久保利通・木戸孝允・前原一誠
 - 六六、 柏村数馬夫人宛書翰
 - 1 明治三（力）年一〇月一九日 柏村庸之允書状写真送附
 - 六七、 松田道之宛書翰
 - 1 明治三年正月一一日 京都止刑事件事情内密聴取希望
 - 六八、 穴戸磯宛書翰（写）
 - 1 明治四年正月八日 諸参議暗殺企図ノ西国浪士不穩行動二断然処置希望
 - 六九、 杉孫七郎宛書翰
 - 1 明治三年六月一六日 毛利敬親着京後長州藩関係者会合模様 穴戸磯刑部少輔二用召 脱走兵探索肝要 木戸孝允・前原一誠・野村靖・品川弥二郎

七〇、長州藩政府関係者宛書翰

- 1 元治 元年一二月一九日 江戸表話合長州藩士帰国許可歎願案文
- 2 慶応二年四月一九日 第二奇兵隊脱走処分ノ件芸州藩へ依頼案文
- 3 慶応二年五月一七日 (木戸準一郎外三名宛) 幕府・芸州藩ト交渉模様 穴戸磯・楯取素彦消息
- 4 慶応二年五月一八日 (木戸準一郎外四名宛) 幕府ト交渉模様
- 5 慶応二年五月一八日 (政府諸先輩宛) 对幕府交渉方略
- 6 明治二年八月二九日 (参事各位宛) 薩長賞典禄半方返上ノ件 賞典禄用途二ツキ意見 北海道割附地経営策評議依頼 兵卒士官規律二ツキ意見 正木
- 7 明治三年正月二八日 (杉孫七郎外五名宛) 脱隊騒動断固処置希望神祇官宣教使要員差出依頼
- 8 明治三年四月四日 (正権大参事各位宛) 干城隊東下・仏式銃陣伝習地二ツキ意見 木梨精一郎
- 9 明治三年五月一四日 (権大参事大監察宛) 藩政改革意見 脱走兵再拳鎮庄ハ前途二好都合 郡県制大目の確守要請 干城隊情実承知 脱刀論成行 肥後藩動向
- 10 明治三年五月一五日 (権大参事大監察宛) 長州藩脱走兵嚴重処分要請 諸藩動向

● 第三者間書翰

○ 七一、橋本実梁書翰

- 1 明治 年一〇月二一日 (岩倉具視宛) 度会県治二ツキ上申使者大橋黙仙紹介

○ 七二、池辺藤左衛門書翰

- 1 年五月七日 (小原忠寛宛) (破損文意不明)

○ 七三、長松幹書翰

- 1 明治 年 月二三日 (穴戸磯宛) 広沢旧同僚招請一件

○ 七四、三条実美書翰

- 1 明治二年七月一五日 (松平慶永宛) 府県奉職規則広沢へ回覧依頼 松田道之帰京報知
- 2 明治二年 月 日 (松平慶永宛) 広沢同伴来訪依頼
- 3 明治二年七月一六日 (岩倉具視連署 大隈重信・寺島宗則宛) 貨幣談判二ツキ大蔵・外務熟談尽力要請 広沢へモ出頭依頼

書類の部

○ 七五、政治関係意見書・写書類

- 1 波多野金吾海防策意見才ヨビ漢詩草稿 表書「丙辰六月穀且未定稿」トアリ 一冊
 - イ 多田稽古場策問控 海防策意見 嘉永五年閏二月
 - ロ 論語里仁篇講議上聴控 嘉永五年三月
 - ハ 遠足記
 - ニ 兵学上聴写 海防策意見 安政四年八月
 - ホ 防春或間 国防策 (山形儒官塩谷甲蔵)
 - ヘ 对策 海防策意見 安政五年一〇月一四日
 - ト 憶説 海防策意見 安政五年一二月
 - チ 漢詩草稿
- 2 波多野金吾海防意見書 一綴
- 3 関東有志者廻書写 攘夷檄文 万延元年一二月 一綴
- 4 政情覚書 毛利慶親幕府閣老ト面会模様 一ツトヤ勤王流行武士・勤王御楯武士 文久元年 一冊
- 5 島津久光書翰写 脇坂安宅宛 一橋・越前両侯登用評決催促 毛利慶親上洛中止 要請 文久二年 一綴
- 6 結城秀伴・村井政礼意見書 勅使江戸着以前毛利慶親上京ノ不可ヲ言上 文久二年七月四日 一綴
- 7 一橋慶喜論書写 家来中宛 一橋家再相統併將軍後見役就任ニ際シ家来中へ訓示 文久二年七月八日 一綴
- 8 公武周旋土州侯宛内沙汰書写 文久二年八月二六日 一綴
- 9 毛利元徳直諭写 官武周旋ノ主旨ヲ告ク 文久二年八月二九日 一通
- 10 参勤交替制等改革命令写 附文久二年参勤割合表 文久二年閏八月 三綴
- 11 斬姦旨意見書写 井伊・安藤二奸遺轍改革要求 文久二年 一綴
- 12 安藤信正・久世広周処罰仰出書写 文久二年八月 一綴
- 13 徳川家茂達書写 幕政改革 文久二年一二月一五日 一綴
- 14 井伊直弼等処罰ノ件申渡覚 文久二年一二月二〇日 一通
- 15 文久二年書類写 二綴
 - イ 寺田屋ノ変死亡人名調御届書写
 - ロ 島津久光卒兵上京建議写
 - ハ 公卿諸大名解慎達写
 - ニ 大原重徳東下持参勅諭写
 - ホ 平野国臣意見書培覆論写
 - ヘ 孝明天皇攘夷親征決意宸筆写 (偽書)
 - ト 東禅寺襲撃事件届書写
 - チ 勅使東下二ツキ老中申渡 外国・神奈川奉行宛写
- 16 孝明天皇御歌 上賀茂行幸 文久三年 一通
- 17 孝明天皇御沙汰書 一橋慶喜宛 將軍東帰中止 京都近海守備指揮下命 文久三年三月一七日 一通
- 18 薩天上書写 奸賊詠罰攘夷ノ件 義士檄文 文久三年 一通
- 19 一橋慶喜上願 攘夷実行ノ件 文久三年四月一四日 一通
- 20 志士奏問断簡 攘夷論 文久三年一二月 一通
- 21 下関ヨリ注進聞書 森山新蔵等十一名人物探聞動静報告 一冊
- 22 攘夷実行建白書 慶応元年二月 一冊
- 23 神感夢記 吳竹庵某秘記 尊王攘夷時論 一冊
- 24 第二次長州征伐関係幕府奏聞・諸侯建白等写 慶応二年 一綴
- 25 吉川経幹歎願書写 穴戸磯・小田村素太郎ノ釈放ヲ乞フ 慶応元年 一通
- 26 某建議案 幕藩制・軍制変革 慶応三年一二月 一通
- 27 政体案 政体書草案 慶応四年 一綴
- 28 宗制改革ニ関スル永平寺・総持寺願書写 附永平寺指出寺格手續書写 慶応四年三月 二綴
- 29 能州総持寺書上写 本寺職無本寺ト相立来リ候次第書上 慶応四年三月 一冊
- 30 真名介意見書 会津攻メノ件 金札融通ノ件 慶応四年七月二日
- 31 広沢真臣府県施政順序案 明治二年二月 一通
- 32 山口藩権小参事森清蔵・湯川平馬ヨリ開拓使宛願書 藩領へ回船直航禁止・開拓使へ入港税直納取止メ願 (附) 増

- 毛・留萌二郡戸口・物産書上 明治二年一〇月 二枚
- 33 海陸軍費定額見積案 府藩県歳入ヨリ家禄賞典ヲ除ク残石四分ノ一ヲ海陸軍費定額ニ充当ノ見積り 明治三年 一綴
- 34 工部省ヲ設ルノ旨 明治三年 一冊
- 35 (源) 知時建言 民部府県知熟説 府県行政改革 勸農局設置反対意見 明治三年一〇月 一冊
- 36 喪紀・姓名・時刻・忌服減等制度案 明治三年 一綴
- 37 英仏其外七カ国国力ニ并軍備表 一冊
- 38 留学国々修学科目 一冊
- 39 某歎願書 岡山藩伊木長門赦免願 一通
- 40 岡田吉頭建白書 (福山藩大参事) 国体・政治・学制ヲ論ズ 一冊
- 41 政治制度改革意見 表紙ニ「附録」トアリ 一冊
- 42 藩政論 附職制表 藩議政・行政・執法機構論 一冊
- 43 赤松大三郎財政意見書 外債 新貨鑄造 外債償却 一冊
- 44 官吏登用意見 一綴
- 45 朝鮮復交交渉書類 清国事情報告書等綴
 - イ 来復書式案
 - 口 御一新之義朝鮮国ヘ報告ニ及ヒ候文案
 - ハ 対鮮交渉促進意見
 - ニ 対島守建白之条決裁要請口上 (大嶋友之允) 書取
 - (i) 通信使来朝ノ件
 - (ii) 対州私交弊例更革ノ件
 - ホ 清国饑饉惨状概略
 - ハ 韓国事件廉書
- 46 戸田忠恕建白書写 攘夷ノタメ士風振起ノコト 一綴
- 47 局外中立論 一綴
- 七六、 広沢真臣履歴資料
 - 1 柏村半右衛門覚書 季之進 (真臣) 波多野家智養子ノコト
 - 2 直温婚儀一件控 安政三年一二月 一綴
 - 3 真鍋長兵衛覚書 養女ノ件 一通
 - 4 志道親良等連印奉書 柳沢備後等宛 波多野金吾 広沢藤右衛門ト改名許可 同写共 元治二年四月四日 二通
 - 5 広沢兵助永代改姓願・同演説書 明治三年九月一八日 二通
 - 6 柏村家親類附 一通
 - 7 広沢真臣立身祝詞 半紙一枚
 - 8 広沢兵助宗門届書 明治二年四月朔日 一通
 - 9 広沢兵助戸籍写 一通
 - 10 広沢真臣上申書 山口藩庁宛 安政六年以降履歴 明治二年三月 一通
 - 11 諸控 広沢真臣履歴
 - 12 広沢真臣履歴 一通
 - 13 広沢真臣履歴書 太政官野紙一綴
 - 14 広沢真臣履歴 修史館野紙一綴
 - 15 前参議広沢真臣卿履歴書 明治一四年一二月 一綴
 - 16 広沢真臣履歴書 附家族系譜 明治二三年四月 野紙一綴
 - 17 三条実美履歴書進達御沙汰書 功臣事蹟編纂ノタメ 明治七年二月一四日 一通
- 七七、 広沢真臣日記・覚書類
 - 1 波多野直温在府中諸沙汰其外日録 嘉永六年六月一六日ヨリ嘉永七年八月二三日迄 (米艦来航ニツキ先鋒隊出府ヨリ帰国マデ) 一綴
 - 2 波多野直温日乗 嘉永七年八月二四日ヨリ安政二年九月五日マデ 一綴
 - 3 波多野直温在府中御触其外諸沙汰控 安政二年九月出発ヨリ安政三年月九日萩帰着マデ 一綴
 - 4 藤原直温日乗 安政三年三月九日萩帰着ヨリ安政三年一二月晦日マデ 一冊
 - 5 直温諸控 安政四年初冬改 一綴
 - 6 直温三田尻在番抜萃録 安政六年 一冊
 - 7 直温公用日載 第一 安政六年三月二七日ヨリ同年一二月晦日マデ 郷蔵元検使役並諸御用掛共 一綴
 - 8 直温公用日載 第二 安政七年正月元日ヨリ同年 (万延元) 一二月晦日マデ 御蔵許検使役御買物方掛り 淡路守様御出萩掛り 一綴
 - 9 直温公用日載 第三 万延二年正月元日ヨリ同年 (文久元) 一二月晦日マデ 一綴
 - 10 直温公用日載 第四 文久二年正月元日ヨリ同年一二月八日マデ 一綴
 - 11 淡路守 (毛利元蕃) 御出萩一件控 万延元年八月二四日ヨリ同年一〇月一五日マデ 一綴
 - 12 日載 壬戌 (文久二年) 季冬初九東〇〇発足以後記焉 文久二年一二月九日ヨリ文久三年四月三日マデ 一綴
 - 13 直温日載 文久三年四月六日ヨリ六月二日マデ 一綴
 - 14 日記 慶応三年一二月九日ヨリ慶応四年正月一六日マデ [清写] 一綴
 - 15 備忘録 第一 慶応三年一二月一八日ヨリ 慶応四年八月一四日マデ 一綴
 - 16 備忘録 第二 明治元年八月一五日ヨリ同年一二月一一日マデ 一綴
 - 17 備忘録 明治元年一二月二日ヨリ 明治四年正月七日マデ 金銭出納 一綴
 - 18 日載 明治元年一二月一一日ヨリ 明治二年三月二八日マデ 一綴
 - 19 公用備忘録 明治二年八月二四日ヨリ 明治三年一二月マデ 一綴
 - 20 日載 明治二年三月二九日ヨリ 明治三年正月二九日マデ 一綴
 - 21 備忘録 明治三年二月朔日ヨリ 明治四年正月五日マデ 一綴
 - 22 雑記綴 一綴
 - 23 雑覚書 五点
- 七八、 広沢真臣長州藩勤仕関係書類
 - 1 広沢真臣 (波多野金吾・藤右衛門・兵助) 宛 嘉永六年ヨリ明治三年マデ 長州藩達書 一二一通
 - 2 芳之助様ヨリ頂戴品目録 慶応三年一二月 一通
 - 3 広沢兵助辞令 帰省中参政上産改正詮儀掛任命 明治元年一〇月一八日
 - 4 毛利敬親達書 広沢兵助宛 滞京中参政現勤心得 明治元年一二月七日 一通
 - 5 毛利侯ヨリ羽織金子下賜仰渡書写 附目録 明治二年七月五日 三通
 - 6 広沢藤右衛門願書 在郷住居許可願 附同許可達 正月二三日 二通
 - 7 広沢真臣願書 山口藩庁宛 柏村庸之允滞京願 明治二年四月一七日
 - 8 広沢兵助覚書 拝借金返納知行高復元願 明治三年一〇月 二通
 - 9 波多野兵助願書控 福原例宛 毛利輝元二百回忌勤仕 未年三月 一通
 - 10 波多野兵助願書控 水津半右衛門宛 妙悟寺殿二百五十回忌勤仕 九月 一通

- 11 波多野兵助願書案 妙悟寺殿二百五十回忌勤仕 一通
- 12 波多野金吾旅中仮養子願書控 五通
- 13 元治元年波多野金吾秋野山屋敷入関係書類
 - イ 秋藩達書 有地九助宛 波多野金吾預置 一通
 - ロ 柏村数馬伺書控 金吾身柄預リ 一通
 - ハ 波多野金吾親類中伺書控 親類無人二付沙汰申請 二通
 - ニ 波多野金吾親類中覚書 金吾預リ順番等 一綴
 - ホ 秋藩達書 有地九助宛 金吾預免除 一通
 - ヘ 秋藩達書波多野金吾親類頃中宛 組中一名出頭 一通
 - ト 野山屋敷入携行品目覚書 一通
- 七九、波多野英蔵長州藩勤仕関係
 - 1 長州藩達書 波多野英蔵宛 二七通
 - 2 波多野英蔵仮番頭役引継覚書 嘉永六年一一月 一綴
 - 3 波多野英蔵願書 金吾先鋒隊江戸出府手当 藩庁宛 一通
 - 4 波多野英蔵願書案 渚府宛 毛利宗広百回忌勤仕ノ件 正月一三日 一通
- 八〇、広沢真臣死去関係
 - 1 長州藩達書広沢健三宛 広沢贈正三位祭祀料関係 四年正月 四通
 - 2 広沢真臣卿薨去一件控 正月九日已来諸事日載 葬祭一件録 薨去役始末并概算記等 一袋一八点
 - 3 広沢真臣卿薨去諸控 葬義・家督相続関係 明治四年正月 一三点一袋
 - 4 広沢真臣葬祭一件 年祭記録一一点一袋
 - 5 広沢健三届書 真臣遭難ニツキ謹慎届 明治四年正月 一通
 - 6 藤井勉三(大属)通達書 広沢健三宛 真臣横死ニツキ謹慎 明治四年一月二五日
 - 7 石崎帰蔵・起田正一宛通達書 謹慎ノ達 明治四年正月二五日 二通
 - 8 長州藩達書 石崎帰蔵・起田正一等宛 解慎ノ達 一通
 - 9 壬生基修東京府知事諭書 広沢真臣殺害犯人探索ニツキ府官員二論達 明治四年二月 一通
 - 10 高遠播磨師範広沢真臣殺害犯人伊奈県下探索聞書 明治四年三月 進徳館野紙 一綴
 - 11 広沢健三宛 某書翰(仮名) 広沢真臣殺害犯人探索 明治四年四月朔日
 - 12 広沢参議殺害犯人探索報告 明治四年九月四日(墨書) 一綴
 - 13 広沢参議殺害凶器関係者取調書 一綴
 - 14 広沢参議暗殺事件 高木茂八・板倉鉄五郎取調書 明治四年六月 一綴
 - 15 市川兼三郎・岡本勇蔵司法省ヨリ喚問上京一件書類 六点
 - 16 起多正一御不審之儀二付不解条々 一綴
 - 17 起田正一在京中受払金高取調書類 長州藩達書・起田正一弁明書等 二綴 四通
 - 18 峯山藩足輕高木茂八並鍔五郎糺問手續書写 明治四年七月 朱字附紙 二冊
 - 19 故参議公墓前二誓ヒ条公閣下二奉ル書ノ写 明治五年八月 一綴
 - 20 広沢参議暗殺二関スル坂口匡提出書写 明治六年三月一五日 一綴
 - 21 広沢参議暗殺事件二関スル坂口匡・坂口隆ノ口供書 明治六年三月一八日 一綴
 - 22 広沢参議暗殺事件坂口匡・隆取調書 四綴
 - 23 坂口匡関係書翰 明治六年 二綴
 - 24 広沢参議暗殺事件証人口供書 長瀬義幹・坂口七郎・留永広吉・山中春蔵・色川海之助・豊原清・小山進・川島元盈・野口平蔵 明治六年 一冊
- 八一、波多野氏系譜類
 - 1 波多野直温編 波多野家系図其他 イ 波多野家略系図(中世) ロ 伝書 ハ 郷由緒願 二 吉見家略系図 ホ 波多野略家系図(近世) ヘ 沢家略系図 一冊
 - 2 波多野家系図並家譜 広沢進マデ 草稿・浄書 二冊
 - 3 直温未稿(マヽ) 波多野家系 安政四年七月改 一冊
 - 4 波多野氏系図 一綴 二通
 - 5 波多野氏略系並伝書 一冊
 - 6 波多野略系並伝書証文御奉書控 一冊
 - 7 広沢家伝書他 イ 御法号録并年表 ロ 柏村家略系 ハ 家伝書并三家系 帙入 三冊
 - 8 直温家譜拾粹録 安政四年七月改 一綴
 - 9 波多野家累代書 一通
 - 10 波多野氏系譜史料断簡 一三点
 - 11 御先祖様年廻録 安政五年三月 一冊
 - 12 広沢家霊祭録 一袋 四点
 - 13 波多野家霊位 二巻
 - 14 親類并智因録 安政五年三月改 一冊
 - 15 波多野氏親類系譜 一木・益田・中村・岡・沢・宍戸・滝戸 波多野四兵衛末家 四綴 四通
- 八二、吉見氏関係
 - 1 吉見略系全 一冊
 - 2 吉見氏由緒書 一綴
 - 3 吉見氏系図類 三巻 一綴 八枚
 - 4 後醍醐天皇論旨偽書写 吉見弘信戦功 正中六年三月二三日 一通
 - 5 吉見氏家歴不審個条書付 一通
 - 6 吉見氏家中人名録 一綴
 - 7 吉見元頼朝鮮在陣之内見ヘタル名々 一綴
 - 8 吉見正頼家頼(ママ)侍附立 正徳二年三月一六日 一冊
 - 9 吉見家頼(ママ)付立 横帖 一冊
 - 10 吉見氏家譜史料断簡 二一点
- 八三、波多野氏累代文書
 - 1 大内政弘判物 波多野秀信宛 所領宛行 文明一二年九月二五日 一通
 - 2 内藤奥盛判物 波多野助左衛門宛 所領預ケ状 天文二二年五月二三日 一通
 - 3 大内義隆判物写 遠田主計允宛 所領安堵 弘治二年六月朔日 一通
 - 4 毛利隆元判物写 波多野龜寿宛 所領安堵 永禄二年一〇月一五日 一通
 - 5 毛利隆元判物写 波多野龜寿宛 父ノ戦功ヲ賞シ所領宛行 永禄三年四月一一日 一通
 - 6 毛利輝元判物写 波多野兵庫允宛 所領宛行 天正一六年六月二〇日 一通
 - 7 吉見元頼宛行状案 波多野作兵衛宛 阿武郡内四十石地宛行 天正一九年一〇月一八日 一通
 - 8 吉見元頼判物 波多野右馬允宛 所領宛行 天正一九年一〇月一八日 一通
 - 9 吉見広行判物 波多野二右衛門宛 所領宛行 慶長三年三月一九日 一通

- 10 吉見広行行状案 波多野与三兵衛宛 領地宛行 慶長三年三月一九日 一通
- 11 吉見広行判物 波多野仁右衛門宛 所領宛行 慶長六年一月一日 一通
- 12 判物写 吉見家ヨリ先祖へ領地打渡状等之判物写 享保七年九月(写) 一綴
- 13 大内義興吹拳状(写) 波多野助太郎宛 左衛門尉 永正四年十二月五日 一通
- 14 吉見正頼吹拳状 波多野藤右衛門宛 紀伊守二吹拳 永祿三年正月二日 一通
- 15 毛利輝元吹拳状 波多野仁右衛門宛 任清左衛門尉 慶長二年正月八日 一通
- 16 毛利輝元吹拳状 中村門左衛門宛 任九郎右衛門尉 慶長二年正月八日 一通
- 17 毛利秀就(力)吹拳状 波多野十三郎宛 任兵介 元和六年正月一日 一通
- 18 毛利秀就吹拳状 波多野半藏宛 任喜兵衛尉 寛永七年正月朔日 一通
- 19 大内義隆(力)御内書案 長々在城慰勞 六月六日 一通
- 20 大内政弘書状 波多野直信宛 鮭到來礼状 十一月八日 一通
- 21 良順書状 見島藤右衛門他宛 病氣ニツキ助五郎ニ御城御番外御奉行申付ノコト 明応七年九月一日 一通
- 22 賢俊等連署書状 波多野藤右衛門宛 宗伝下城後ノ守備 天文五年一〇月二日 一通
- 23 隆仲等連署書状 町野宮之丞宛 波多野助左衛門給地ノ件ニテ呼出 天文二〇年九月一三日 一通
- 24 隆言等連署書状 波多野助左衛門宛 知行安堵 天文二〇年一〇月七日 一通
- 25 隆世等連署書状 波多野助左衛門尉宛 戦功褒賞 六月二日 一通
- 26 隆勝等連署書状 波多野五郎左衛門宛 軍勢催促 正月一四日 一通
- 27 興滋書状 波多野頼春宛 病氣不参報知 九月二八日 一通
- 28 隆尉等連署書状案 禅興寺宛 波多野藤右衛門等給地打渡ノ件 七月五日 一通
- 29 吉見正頼書状 波多野右馬允興景宛 下賜品添書 八月一〇日 一通
- 30 吉見広頼書状 波多野藤右衛門〔直忠〕宛 城譜請ノ件 一〇月四日 一通
- 31 吉見広頼名字折紙 波多野吉次宛 加冠 天正一八年八月晦日 一通
- 32 波多野弥四郎元行書状 祈薦音問ヲ謝ス 四月一六日 一通
- 33 波多野弥四郎〔元行〕内儀書状 戦勝祈願依頼 一〇月二八日 一通
- 34 波多野宗清書状 村山大夫宛 祈祷ヲ謝ス 一月二日 一通
- 35 波多野好宗書状 村山四郎大夫宛 祈祷音問礼状 三通
- 36 吉見家随従当時由緒書(写) 享保七年九月(写) 四綴

○ 八四、波多野氏累代文書 II

- 1 波多野氏相続関係奉書 波多野四兵衛隠居五郎兵衛相続ヨリ波多野英蔵致仕金吾相続マデ 延宝六年一安政六年 三〇通
- 2 波多野家先祖来歴関係書状 九通
- 3 波多野氏知行地関係書類 万治二年一享保九年 知行加増・歩戻開作等 七通
- 4 占屋久四郎誓書 占屋八郎左衛門宛 本家相続 享保九年一月 一通
- 5 波多野清左衛門起証文前書 波多野藤右衛門宛 親族内紛義和解 寛保元年八月二四日 一通
- 6 波多野与三起請文 波多野藤右衛門宛 親族内紛義和解 寛保元年八月二五日 一通
- 7 波多野氏家族関係雑書 類誕生・死亡・養子・改名・年忌等 五綴 七通
- 8 江戸御役座諸控 享保五年一寛延二年諸事書留 一冊
- 9 大検使座御書附同授書他 延宝五年一明和七年 一冊
- 10 長州藩勤仕関係雑書類 九点

○ 八五、雑部

- 1 毛利氏事歴 慶長五年一寛永十年 一綴
- 2 毛利秀就消息 夫人宛 毛利輝元病状他 四月二〇日 一通
- 3 講武所規則書 安政三年四月 一冊
- 4 長州藩達書 国司次郎三郎等宛 先鋒隊員任命 嘉永六年二月一八日 一通
- 5 堀利熙辞世賦写 万延元年 一通
- 6 鳥撰覚書 鳥孝貫通甫写 野村作之丞諸事書留 延享元年一〇月
- 7 沙村詩集 波多野金吾写 嘉永四年一〇月 一冊
- 8 広沢兵助届書 弁事宛 病氣上京猶予 明治元年一月一四日 一通
- 9 祭祀定例 先祖祭ニツキ建三へ諭書 明治二年三月七日 一通
- 10 招魂社用地払下願書類 兵部省宛 広沢真臣願書他 明治三年一二月 三通
- 11 長松文輔休暇延長願書(弁事御中) 一二月一七日 一通
- 12 広沢家蔵書目録 明治四年正月 一冊

● (附録) 広沢真臣略年譜

- 本目録所収の「広沢真臣上申書」「広沢宛長州藩達書」「広沢真臣日記」および「百官履歴」に主として依拠し、文部省編「維新史」末松謙澄編「防長回天史」等を参考にした。
- 天保四年 一才
 - 二月二九日 萩藩士柏村半右衛門安利三男として誕生 諱ははじめ直温のち真臣 通称ははじめ季之進・金吾のち藤右衛門・兵助 号は障岳
- 弘化元年 一二才
 - 二月二八日 波多野直忠(英蔵) 智養子
- 嘉永五年 二〇才
 - 二月一八日 先鋒隊入
- 嘉永六年 二一才
 - 六月二四日 米艦来航につき江戸出府
 - 二月一〇日 先鋒隊除隊
- 安政二年 二三才
 - 九月九日 江戸へ向け発足(一〇月三日江戸着)
- 安政三年 二四才
 - 二月一七日 江戸発帰国(三月九日萩着)
- 安政六年 二七才
 - 二月一九日 家督相続
 - 三月二八日 蔵元順番検使当分暫役(九月九日本役)
 - 一〇月一日 軍制詮議御用掛
 - 一〇月一八日 献上掛
 - 一〇月二一日 木屋方暫時掛
 - 一〇月二八日 三田尻御仕組掛
- 万延元年 二八才
 - 五月一八日 勘文方御惱借方掛

- 七月一〇日 病氣辭職願却下
 - 七月一八日 御買物方掛
 - 八月二四日 毛利元周出萩御賄
- 文久元年 二九才
 - 二月一四日 御手廻組に加へられ大検使役被仰付
 - 二月一四日 蔵元順番検使役免
 - 六月二二日 御納戸御道具請渡方見届
 - 六月二日 有備館用掛
- 文久二年 三〇才
 - 二月四日 江戸上府
 - 四月二五日 御米銀方請渡並内勘見届掛
 - 五月一三日 大納戸御道具請渡見届掛
 - 六月二日 有備館御用掛同館御入用並諸器械出納見届
 - 六月九日 桜田大納戸武具調見届
 - 一〇月四日 兵庫惣奉行毛利筑前江戸詰居中手元雇之御用取計被仰付
 - 十一月二八日 軍装並上京御道具取調
 - 十二月一三日 世子上京随行
- 文久三年 三一才
 - 正月四日 若殿様御供差除京都詰
 - 正月二四日 根来上総殿手元役
 - 二月三日 御用所役兼帯
 - 二月六日 若殿様御供人数並諸器械配付隊伍編成等取調
 - 三月朔日 根役より浦勒負殿手元座之御用取計被仰付
 - 三月一六日 行幸供奉慰勞
 - 四月二一日 世子に随従京都発（五月八日山口着）
 - 五月一八日 蔵元役助役
 - 五月二八日 根来上総殿手元役差免
 - 六月六日 攘夷二付馬関出張被仰付滞留中惣奉行国司信総殿相談役
 - 六月一〇日 赤馬関出頭
 - 六月一七日 明倫館頭人
 - 八月二九日 奇兵隊解散の藩議に反対小郡転駐を主張し容れられる
 - 九月一三日 蔵元本役
 - 九月二四日、二七日 藩政府員会議に出席
 - 一二月三日 明倫館頭人座御用差除
 - 一二月六日 三田尻出張
 - 一二月六日 明倫館頭人免
- 元治元年 三二才
 - 三月一四日 公卿方赤間関行随行
 - 四月四日 身柄一代広沢と改称許可
 - 五月一一日 操練御用掛
 - 七月一三日 若殿様御進發御供被仰付
 - 七月晦日 世子御供免
 - 八月七日 四国連合艦隊に対する和平提議の藩議に参加
 - 八月一〇日 毛利登人に随行し四国艦隊との和平交渉に当る
 - 八月一三日 外国人応接係被仰付
 - 八月二九日 御政務役被仰付蔵元役兼帯
 - 九月一四日 辭職不許可
 - 一〇二五日 病氣辭職許可
 - 一二月一八日 萩野山岳に投獄
- 慶応元年 三三才
 - 二月一四日 釈放
 - 二月一五日 野山屋敷より帰宅謹慎
 - 二月二六日 謹慎解除
 - 三月三日 手当方用掛
 - 三月六日 手廻組御用所右筆
 - 四月四日 広沢藤右衛門と改名許可
 - 四月二九日 辭職不許可
 - 五月六日 御用所役国政方
 - 六月一三日 御役人通に被準御小姓筆頭被差置
 - 八月二二日 軍制惣掛被仰付当方御国政引請
 - 八月二六日 御用有之芸州に差越
 - 一一月一五日 根役より干城中隊副督被仰付毛利内通殿留守中総管座之御用取計
 - 一月上旬 広島に赴き芸州藩と折衝
 - 一月中旬 芸州滞留
 - 一二月上月中旬頃近藤勇等の長州藩内情探知のための同行要請を拒否
 - 一二月二五日 五卿様方御帰洛之節上京被仰付候事
- 慶応二年 三四才
 - 五月一日 幕府高杉広沢等一二名広島へ差出を命令
 - 六月一三日 御小姓筆頭
 - 八月七日 小田村素太郎とともに芸州藩家老仙石志摩と会し二藩提携を議す
 - 九月二日 井上・太田・長松等と共に巖島にて勝と応接
 - 一一月 五代友厚と薩長「商社示談箇条書」を結ぶ
 - 一二月九日 政事堂出勤
 - 一二月九日 蔵元役兼帯
- 慶応三年 三五才
 - 八月二二日 軍制惣掛
 - 九月一七日 山口にて木戸とともに薩藩大久保・大山と会談
 - 九月一八日 大久保の毛利父子との会見に同席
 - 九月一九日 木戸等とともに大久保と会談出兵盟約

- 九月二〇日 山口にて芸藩植田乙次郎と出兵盟約を議定
- 九月二三日 広島へ派遣さる
- 九月二七日 浅野茂勲に謁見、出兵延期非得策を警告
- 一〇月上旬 芸藩家老辻将曹を説得のため上京
- 一〇月八日 薩長芸三藩士会合に出席
- 一〇月八日 京都の情況報告に藩地へ出発するも大久保に呼戻される
- 一〇月一三日 岩倉具視より討幕密勅をうく
- 一〇月一四日 密勅を奉じ大久保等と京都出発（同月二一日山口着）
- 一一月一八日 三田尻にて毛利広封島津茂久の会見に陪席
- 一二月一八日 御用有之急速上京仰付られ同夜山口発（同月二六日京都着）
- 一二月二七日 京都薩藩邸へ出張
- 明治元年 三六才
 - 正月初 岩倉と乗輿遷幸を協議
 - 正月三日 参与
 - 正月一七日 徴士
 - 正月一七日 海陸軍務掛
 - 正月一十九日 内国事務掛被仰付 海陸軍務掛兼勤
 - 正月丁八日 大久保の大坂遷都説に賛成
 - 二月九日 御親征大総督参謀辞退
 - 二月一六日 外国人上京参内に付御用掛被仰付
 - 四月六日 京都岩倉邸にて徳川家処分の朝議に参加
 - 五月二三日 当官を以て京都府御用掛
 - 九月二三日 毛利敬親供にて京都発途帰国（一〇月五日山口着）
 - 一〇月一八日 長藩御用所御右筆役差免
 - 一〇月一八日 帰省中長藩参政上座御改正詮議掛
 - 一一月二日 当今参与席御無人に付至急上京命令
 - 一一月一四日 病氣上京猶予
 - 一二月七日 滞京中長藩参政現勤心得
 - 一二月一一日 山口発途上京（明治二年正月元日京都着）
- 明治二年 三七才
 - 正月一四日 薩・長・土藩版籍奉還円山会議に出席
 - 二月 此月胸痛病臥
 - 二月九日 御東幸供奉被仰付
 - 三月一一日 病氣快方発途（三月二八日東京着）
 - 四月八日 民部官副知事兼勤
 - 五月九日 耶蘇宗徒御処置取調掛被仰付
 - 五月一、五日 是迄の職務免ぜられ民部官副知事専任
 - 五月二一日 叙従四位下
 - 五月二五日 封建・郡県併用論奉答
 - 七月八日 民部大輔
 - 七月二〇日 御用の節々開拓使へ出仕被仰付
 - 七月二三日 参議
 - 八月二〇日 東久世公一件取調不都合に付謹慎（翌日解除）
 - 九月二六日 高千八百石依勲勞永世下賜
- 明治三年 三八才
 - 正月七日 紫組掛緒下賜
 - 三月二三日 叙正四位
 - 三月二四日 御用有之山口藩へ差下さる（四月五日山口着）
 - 四月二二日 山口発途（五月朔日東京着）
 - 五月一一日 弾例取停手落に及び不束之次第に付謹慎被仰付（同月一九日解除）
 - 七月一〇日 民部省御用掛
 - 九月八日 薩長土肥徴兵訓練天覧供奉
 - 九月一八日 永代改姓願
 - 一〇月五日 民部省御用掛被免
 - 一一月一七日 西京御改革一件につき上京被仰付
 - 一一月三〇日 参議中御無人御用多に付上京被免
 - 一一月三〇日 東京府御用掛
 - 此年 長藩より拝借金返納減石復元認可
- 明治四年 三九才
 - 正月八日 死去
 - 正月九日 贈正三位

宍戸機関係文書

書翰の部

- 一、広島応接関係書翰 I
 - 1 慶応元年閏五月一四日（赤川又太郎宛 中村誠一・藤田与次衛門・広沢藤右衛門・山田宇右衛門書翰）宍戸御名代 広島表へ派遣 貴殿一同同行ノ沙汰書送付 委細小田村ヨリ聴取アレ 佐伯太郎衛門 松村玄仲
 - 2 慶応元年六月七日（山県半蔵宛 広沢藤右衛門・前原彦兵衛書翰）馬関応接書返却乞ウ
 - 3 慶応元年一〇月五日（宍戸宛 林良輔・杉孫七郎・木梨彦右衛門書翰）出発祝
 - 4 慶応元年一〇月九日（宍戸備後助宛 広沢藤右衛門・松原音三書翰）当駅着到敬賀 芸使モ昨夜着 深町三郎右衛門 植田乙次郎 浪花辺ノウワサ 我方所志貫徹センノミ
 - 5 慶応元年一一月一日（広沢・松原ト宍戸往復書翰（断翰））〔往キ 宍戸ヨリ〕兩人出頭不賛成 芸藩士ヨリノ返答ニテハ監察意中不明熟慮ヲ要スベシ〔返シ 広沢ヨリ〕度々ノ病氣不出席デハ却テ拙策ニ非ズヤ植田・寺尾尽力ノ手前モアリ出席ノ方ヨロシカラズヤ
 - 6 慶応元年一一月一三日（宍戸備後助宛 杉孫七郎・柏村数馬・林良輔書翰）木梨面話国許事情承知アラン 前書御申越ノ件同意 隊士差遣ノ際ハ御申含メアルベシ 井原病氣 単身大任ノ貫徹ニ期待ス

- 7 慶応元（カ）年一月二三日（宍戸備後助宛 小田村素太郎・赤川又太郎書翰）芸藩ヨリ通達組頭一人貴寓へ差越サルルニ付面会アリタシト 只今桂ト対酌中ナリ
- 8 慶応元年一月二日（小田村宛 広沢書翰）寺尾来ル 今朝ノ請書出来テオレバ渡シタシ
- 9 慶応元年一月二日（宍戸備後助宛 広沢藤右衛門書翰）芸藩宛書状写并植田・寺尾宛書状写并拝借 留守中寺尾来訪 大津来訪只今帰ル 幕達書木梨へ廻付サレタシ
- 10 慶応元年一月三日（宍戸宛 広沢・松原書翰）諸隊滞陣ノ存意書加エラレタシ 木太夫答書ト一同二差出方好都合ナラン
- 11 慶応元年一月四日（宍戸・木梨書翰草稿）国泰寺面接隊中ヨリノ書面伝達（幕吏へノ書翰草稿）
- 12 慶応元年一月五日（宍戸ト木梨往復書翰）〔往キ 宍戸〕小田村ヨリノ書面転送通知〔返シ 木梨〕同返事ニ添工近況
- 13 慶応元年一月六日（宍戸宛 松原・広沢書翰）木梨・諸隊書面了承 植田・寺尾へ渡シノ文面モ結構 木梨答書モ別紙書加工分ヨリコノ方ヨロシカラシ
- 14 慶応元年一月六日（宍戸宛 広沢・松原書翰）寺尾来ル 仰越シノ趣旨ニヨリ国情切迫ノ次第ヲ説明 納得ユキシ模様
- 15 慶応元年一月六日（小田村素太郎宛 宍戸備後助書翰）奉勅始未受取り 借用別紙返却 付、幕監宛提出ノ達書 草稿一月一日付
- 16 慶応元年一月六日（宍戸備後助・木梨彦右衛門宛 杉孫七郎書翰）大津帰藩芸地事情了承 集義隊ト荻野隊合併 徳山配備 幕吏帰藩御退隠削地ノ拳二出ルナラン 筑前俗論沸騰ニテ二十余人就刑ノ由 平田大江 付、藩内近況一通
- 17 慶応元年一月七日（宍戸備後助宛 広沢藤右衛門書翰）寺尾来訪昨日ノ結果判明 木梨答書ハ切紙通り書き加工提出 河瀬等ノ書面ハ不明 答書類監察ノ思惑アランモ一書ニテモ多キカ良カルベシ
- 18 慶応元年一月七日（宍戸宛 木梨彦右衛門書翰）此後ノ模様ニテハ芸侯周旋ヲ必要トセン 野村帯刀ニ別紙ノ文句ニテ任カセテハ如何
- 19 慶応元年一月七日（広沢・松原ト宍戸往復書翰）〔往キ 宍戸ヨリ〕河瀬等三人来リ委細承知 自判書ソノ他提出ニツキ如何ノ模様ナリヤ〔返シ 広沢ヨリ〕書面二通永田権介渡シ 削リ難キ文言口頭ニテ説明 自判書ハ監察ノ披見ニ入レテオラズ明朝ニハ報知アラン
- 20 慶応元年一月八日（宍戸備後助・木梨彦右衛門宛 広沢藤右衛門・松原音三書翰）立野一郎 寺尾ヲ経テ永井へ書面差出シ ソノ回答寺尾へアリ 木梨答書・諸隊書面ソノママ受取り 自判書ハ疑義アル由字句ノ変更位ナレバ書き直シヤリテハ如何 永井登坂説ハ虚伝 幕議決定如何アラン

○ 二、 広島応接関係書翰 II

- 1 慶応元年一月八日（広沢・松原ト宍戸往復書翰）〔往キ 宍戸〕文面前後ハ兎モ角三監察聞届ケニ相違ナケレバ 調整工木梨モ同意 寺尾宛永井書翰貰イオキタシ〔返シ 松原〕自判書調整工明早朝マデ赤川へ依頼 出来次第寺尾書状オ返シアリタシ 永井書状留置クコト困難ナラン ソノ写シハステニ控済ミ
- 2 慶応元年一月八日（宍戸ト広沢・松原往復書翰）〔往キ 宍戸〕永田権助書面受取りソノ返事ナキヤ 監察等ノ動静如何〔返シ 広沢〕永田権助今朝来ル 昨日ノ書類寺尾ヨリ差出セシ筈 ソノ回答今日中ニアル筈ナレド未ダナシ 故ニ手紙ヲ送レリ 永井今朝登坂ノウワサ 寺尾来訪セバ実否判明セン
- 3 慶応元年一月八日（宍戸ト木梨往復書翰）〔往キ 宍戸〕別紙三通広沢ヨリ届ク広沢意見ノ通りデヨロシケレバ 明早朝調整工申スベシ〔返シ 木梨〕先方ノ立場モアリ広沢意見通り調整工ヨロシカラシ
- 4 慶応元年一月九日（宍戸宛 広沢書翰）自判書木梨ヨリ受取り 寺尾来訪待機書面ダケナリトモ終結イタシオキタシ 永井書翰返却ノコト 寺尾へ所望ノ談判困難ナラン
- 5 慶応元年一月九日（宍戸備後助宛 国重徳次郎・赤川又太郎・小田村素太郎書翰）自判書監察気附ノ通り書き替工提出
- 6 慶応元年一月九日（宍戸ト木梨往復書翰）〔往キ 宍戸〕調整工自判書転達〔返シ 木梨〕同受取り
- 7 慶応元年一月一〇日（宍戸宛 広沢書翰）応接書二冊ト御用状受取 自判書監察へ提出次第河瀬等引取りノ決議ニツキ飛脚明朝ニ返ス予定 手控ノ二冊山口へ届ケ置クベシ オ手許ノ手控并ニ幕監達書ハ事落着マデ御入用ナラン 木梨草按然ルベカラズ スデニ応接一件落着ノハズナレバ朝幕共御水解ノコトト思イ決メ モシ意外ノオ沙汰ナレバ藩直訴スベシ 尽スベキハ尽シコノ上ハ素知ラヌ顔ニテ滞アルベシ
- 8 慶応元年一月一〇日（宍戸宛 広沢書翰）寺尾連絡ナシ 問合せノ書翰差出シ返答アリ 明朝来訪ノ由ヨツテ飛脚留メ置クベシ 寺尾報知明日委細オ話スベシ 付、木梨草按一通
- 9 慶応元年一月一〇日（宍戸・木梨宛 松原・広沢書翰）今曉山口ヨリ飛脚着御用状御覧アルベシ 諸隊一件河瀬初メ呼寄セノツモリ 当地出張ノ諸兵恐ルルニ足ラズ 二三日後ニハ和戦ノ模様判明セン
- 10 慶応元年一月二日（宍戸・木梨宛 広沢書翰）演説書如何 早々差越サレタシ
- 11 慶応元年一月二日（小田村素太郎・赤川又太郎宛 木戸貫治・山田宇右衛門・中村誠一・広沢藤右衛門書翰）広島ニテ評議ノ件広沢帰山当役方へ報告 コノ先共応接ハ名代二頼ルベシ 諸兵引取ラバ登坂イタスベシト芸藩へ演説書サシ出セシモ廢削ナドノ沙汰ニヨリテハ決戦止ムヲ得ズ ソノ節ハ朝幕ニ直訴スベキモ結果ハ期待シ得ズ 四境ノ兵不退ニテ登坂命令アラバ御地ヨリ歎願書サシ出シ速ニ帰国アレ コノ含ミニテ応接サレルヨウ 両太夫ヘモ伝言サレタシ 付、芸藩へ対シ演説書
- 12 慶応元年一月二七日（宍戸備後助宛 松原音三書翰）一四日未明草津出帆 広沢・赤川蔵島参詣 麻郷ニ上陸下松一泊二〇日徳山着 若殿様御旅館ニ広沢一同伺候報告 二日帰藩御前ニ於テ広沢・私ヨリ委細報告
- 13 慶応元年一月二八日（宍戸書翰草稿）四境ノ兵撤不撤ニ関フリナク対幕接衝ノ決意（習年正月元日藩政事堂連名宛書翰草稿）
- 14 慶応二年一月一日（山田・広沢・中村宛 小田村素太郎・赤川又太郎書翰下書）幕府断案ヲ下スニ到リタル際ノ在芸使節ノ挙止ニ対シ意見
- 15 慶応二年一月八日（木梨彦右衛門・宍戸備後助宛 広沢藤右衛門書翰）旧臘書翰受取ノ上国向近状承知 幕議難渋ノ模様ナレド硬論制スベク 我ハ諸隊訓練満ヲ持ス態勢ナリ
- 16 慶応二（カ）年一月一日（桂小五郎宛 三好軍太郎・野村靖之助書翰）行末兵制ノ議謹慎ノ身山口へ出頭ナラズ 長府へ推参別紙写歎願書提出セリ
- 17 慶応二年一月二日（宍戸備後助宛 広沢藤右衛門書翰）上国向幕府手詰リノ模様 コノ先ノ形勢不明 持久策コソ肝要ナラン 有栖川宮初メ公卿方慎ミハ長州始末ノ後ニ沙汰アル由 君上ノ御赤心貫徹ニ邁進アルノミ
- 18 慶応二年一月二日（小田村素太郎・赤川又太郎宛 広沢藤右衛門書翰）上国向近情芸藩回答承知広島長滞ニツキ君上御内使大庭派遣 費用送金スベシ 一月モスレバ模様判明セン 閣老京撰間往来幕議ナオ未定 御苦勞ナガラ御見合セノコト
- 19 慶応二年二月八日（小田村素太郎・赤川又太郎宛 松原音三書翰）兵備充実 明倫館ニオイテ在城兵勢五大隊上覽 司令士以上御酒頂戴 萩表一大隊新ニ創立 今ニシテ三大夫七士ガ惜シマル
- 20 慶応二年二月一日（小田村素太郎・赤川又太郎宛 前原彦太郎・広沢藤右衛門・山田宇右衛門書翰）佐伯太郎左衛門帰着 御地近況承知 答書差越シ併セテ国貞直人派遣

○ 三、 広島応接関係書翰 III

- 1 慶応二年二月九日（小田村素太郎・赤川又太郎・国貞直人宛 前原彦太郎・山田宇右衛門書翰）薩人土持 国論ハ国貞出張ノ際ニ変更ナシ 山口無人ニツキ国貞至急帰山スベシ
- 2 慶応二年三月六日（赤川又太郎宛 前原彦太郎・中村誠一・広沢藤右衛門・山田宇右衛門書翰）小田村帰国芸州事

情聞知 木梨帰国勝手ノ幕達アリ 帰国ニ論決セリ 御支藩様出芸アルマジ 國中沸騰御心配ノ趣 右ハ思過ギニ付心配ノ要ナシ 小田村近く出芸スベシ

- 3 慶応二年三月六日 (赤川又太郎宛 小田村素太郎書翰) 山口帰着政事堂君公へ報告 木梨引払イ現地裁量通り費用五百兩急送スベシ アト五百兩帰任ノ際持参スベシ 御支藩出芸ノ件決定ヲ待チ帰芸ノツモリ
- 4 慶応二年三月一日 (宍戸備後助・杉孫七郎宛 広沢兵助書翰) 今夕備後助旅寓ニテ政蔵両局諸君ト会合シタシ御聴ノ件鎮定ノ見込ミ
- 5 慶応二年三月二〇日 (宍戸備後助宛 杉孫七郎書翰) 本日芸人來着仰セノ通り丁寧引受ノ手筈 木梨宅ニ集会快飲セリ
- 6 慶応二年三月二二日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 中村誠一・野村弥右衛門・広沢藤右衛門・山田宇右衛門書翰) 芸使寺尾・立野來着用件 演説書控相渡シソノ文言ニ付寺尾意見 長防士民申談書謄写ニツイテ 更衣一件
- 7 慶応二年三月二二日 (宍戸備後助・小田村素太郎・赤川又太郎宛 廣沢藤右衛門書翰) 寺尾生十郎・立野一郎山口着松原・小生等ニテ応侍 表向キハ支封侯出芸ノ催促 内実ハ出不出ノ決定聞合セ 明後内藤左兵衛出発 ナオ芸藩ニ依頼スル旨応接セリ
- 8 慶応二年三月二四日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 廣沢藤右衛門書翰) 芸使寺尾・立野帰国 立野徳山ヨリ宮市迄立戻対話 支封侯出芸コトワリノ名代家老一人ニ出来ザルヤ ソノ謝絶応答ノコト 君上ニ言上 芸藩ノ周旋感ズベシ
- 9 慶応二年三月二九日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 中村誠一・藤田与二右衛門・廣沢藤右衛門・山田宇右衛門書翰) 寺尾生十郎二五日帰芸 支封侯出芸ノ件寺尾へ申入レ 立野一郎 芸播翰旋感服 内藤左兵衛 吉川堅物 出芸猶予申入レニツイテ
- 10 慶応二年三月二九日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 廣沢藤右衛門・中村誠一・山田宇右衛門書翰) 出芸ノコトワリニ関シ立野・寺尾氣附ケ徳山へ勧告ノ模様 大野丹下來話 山田応答始末 大草修吉
- 11 慶応二年四月二日 (小田村素太郎宛 廣沢藤右衛門書翰) 宍戸等寺町引揚ゲ後ノ芸城探索手段相談
- 12 慶応二年四月二日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 廣沢藤右衛門・中村誠一・山田宇右衛門・木戸貫治書翰) 二六日以来幕達ハ不条理 幕令アリ次第早々高森迄引取ラレタシ 名代ノ儀ハアク迄宍戸ニテ済マセタシ 内藤左兵衛
- 13 慶応二年四月四日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 廣沢藤右衛門・中村誠一・山田宇右衛門・木戸貫治書翰) 使節引取り幕達アリタル上ハ急ギ高森へ引揚ゲ 小田村帰山ノ上高森へ 出芸一件ハ今後共宍戸一手ニテ依頼 江戸幽囚ノ面々釈放ノ由受取り方早々手配サレタシ
- 14 慶応二年四月七日 (廣沢藤右衛門宛中村誠一・藤田与二右衛門・山田宇右衛門・木戸貫治書翰) 第二奇兵隊脱走一件 幕へ届ケ方指令
- 15 慶応二年四月七日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 廣沢藤右衛門書翰) 五日芸城引払承知 高森ニテ打合セノツモリ 第二奇兵隊暴発ノ急報 取鎮メノ為出張 十日迄ニ高森へ着スベシ
- 16 慶応二年四月八日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 廣沢藤右衛門書翰) 第二奇兵隊暴発ノタメ大島郡勤場へ本日着立石孫一郎 隊士百人四艘ニテ昨昼出帆 六日以来説得 大村益次郎 高橋熊太郎 大島宰判農兵二小隊ニテ追跡 ソノ吉左右ヲ待チツツアリ コノ件演説書芸城へ届ケラレタシ 演説書文言ニツイテ ソノ結局国許へ報告アレ 明日迄追跡結果ヲ待チ 一〇日晚迄ニ御地着ノツモリ 小笠原仁左衛門
- 17 慶応二年四月一〇日 (宍戸備後助宛 小田村素太郎書翰) 御用状着 山宇翁へ廻付 赤川出芸ノ由ナレバ届書提出モ一安心 広沢帰着小笠原仁左衛門請書持参出立 寺尾來着ニヨリ昨日宮中ニ滞留 明朝出発御地通行ノ折オ訪ネスベシ
- 18 慶応二年四月二日 (宍戸備後助宛 廣沢藤右衛門書翰) 芸使桜井広接 御名代差出ノ件 芸浄翰旋中デモアリ事態遷延ノ手 和戦決スル際ノ御名代尊君ヲ煩ラフスコトニ決定御尽力カ願ウ
- 19 慶応二年四月一八日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 野村弥右衛門・藤田与次右衛門・中村誠一・山田宇右衛門・木戸貫治書翰) 別紙御沙汰書写ノ通り内意ヲ得置カレタシ
- 20 慶応二年四月一八日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 野村弥右衛門・藤田与次右衛門・中村誠一・廣沢藤右衛門・山田宇右衛門書翰) 篠田武蔵他三名飛脚要員派遣添書

○ 四、 広島応接関係書翰 IV

- 1 慶応二年四月一九日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 中村誠一・廣沢藤右衛門・木戸貫二書翰) 第二奇兵隊脱走ノ徒倉敷ニテ暴動 脱走始末備藩へ呈書 ナオ芸藩ヨリ好キツテハナキヤ
- 2 慶応二年四月二二日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 廣沢藤右衛門書翰) 支封侯名代広島へ到着ノ上ハ如何 意外ノ結果ヲ見開戦ハ必常ナラン 寺尾留守宅焼失ノ由 然ルベク見舞方依頼 倉敷暴徒歸來者詠伐 集議隊首謀者処分及ビ奇兵隊砲卒暴徒始末
- 3 慶応二年四月二三日 (宍戸宛 杉孫七郎書翰) 有栖川内使來着 木戸辭職申出 小沢伊織 岡義右衛門 湯田辺リ三絃太鼓等ノコト 若殿様來月上旬出萩ノ予定 丙寅丸航海手筈
- 4 慶応二年四月二九日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 廣沢藤右衛門・山田宇右衛門・木戸貫治書翰) 使節出芸一日延引ノ件ソノ後如何 第二奇兵隊脱走立信者二七人処刑 芸政府へ達書送付 備前へノ達書モ御地ニテ取計ラワレタシ
- 5 慶応二年四月二九日 (小田村・赤川宛 廣沢書翰) 田中縫助 太宰府五卿幕吏工作 薩ノ反対ニ挫折ノ模様 第二奇兵隊脱走以後暴挙次イテ起ル氣配 断乎嚴罰ノ布告 横道外記 大草修吉 室賀拓摩守使岩国應接始末 品川弥二郎
- 6 慶応二年五月三日 (宍戸備後助宛 廣沢藤右衛門書翰) 裁許申渡一件ハ小田村・赤川へノ通達ニテ承知アリタシ 幕・芸へノ広接接衝ノ件 士民歎願書並ニ添書山口表二於イテ起草中 高森引取りノ際賞賚ニ入レン
- 7 慶応二年五月三日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 廣沢藤右衛門・兼常剛之助・山田宇右衛門・木戸貫治書翰) 本末兩名代呼出シノ幕達二対シ当方応答ノ手順 断然拒絕 一応御請ノ兩策 後來ノツナギヲ残シ置ク方良カラシモ 見込ミニテハ決断シテモ良シ 臨機決セラレタシ
- 8 慶応二年六月二三日 (目賀田喜助・塩谷鼎助他一名宛 小田村素太郎書翰) 宍戸共ドモ閣老へ召出サレ陳述 今明日中芸士伴イ新港へ帰着ノ運ビニツキ港辺御手筈ヲウ ナオ馬二匹拝借イタシタシ
- 9 慶応二年六月 日 (目賀田喜助・塩谷鼎助宛 寺尾生十郎・植田乙次郎書翰) 幕軍大嶋郡砲撃 宍戸君拘留等問責ノタメ出兵アリ ソノ者等乱妨ニ対シ御挨拶ノ承 閣老手替リ從來ノ御国情貫徹イタスベキヤ御自重ヲ願ウ
- 10 慶応二年七月八日 (宍戸備後助宛 木戸貫治・山田宇右衛門・廣沢兵助・中村誠一・前原彦太郎・野村弥右衛門・赤川又太郎書翰) 御願筋却下ノ通知
- 11 慶応二年一月八日 (宍戸備後助宛 杉孫七郎書翰) 諸隊出張一条一統大尽力 一〇日参謀参集軍議ノ手筈 爰元御潜居ニテヨロシカラシ
- 12 慶応二年一月二七日 (小田村素太郎・赤川又太郎宛 廣沢藤右衛門書翰) 永井帰阪天幕氷解カ 意外ノ沙汰アレバ決戦 木戸貫治薩ト申合セノ為幕吏広接書携行出発 我方ノ態勢充実ノ近況
- 13 慶応二年二月九日 (宍戸宛 小田村素太郎書翰) 御起草ノ書面写中 奉勅始末ハ擬對問録二載録ノ分ノミ所持モツトモ木梨へ貸出中 本日隊中着後刻参上オ話スベシ
- 14 慶応二(カ)年 月 日 (宍戸宛 中村誠一・廣沢藤右衛門書翰) 追啓 御家老状別紙謄写一通差出
- 15 慶応二年 月 六日 (宍戸宛 廣沢・松原書翰) 仰越シノ存意ノ通り植・寺兩人二程ヨク弁解イタシ置クベシ
- 16 慶応二年 月 五日 (宍戸宛 廣沢書翰) 諸隊上書 木梨答書 拜借依頼
- 17 慶応 年 月 二日 (小田村宛 松原・廣沢書翰) 認メ掛リ初メタルヤ寺尾氣ノ毒様子知ラセラレタシ
- 18 慶応 年 二月 七日 (宍戸備後助宛 楯取素彦書面) 諸隊今明日ニ華補集合 既ニ手後レノ上ハ緩々手ヲツケラレルベシ 私等松城ノ心事ニ背カズ 添状・此度ノ行貫筈何イタシ一通
- 19 慶応 年 月 一四日 (宍戸備後助宛 小田村素太郎書翰) 監察達書 執事方覚書 諸隊引取ノ届貸与願イ
- 20 年 月 二日 (野村素介ト宍戸三郎往復書翰) 〔往キ 宍戸〕諸隊根陣へ引揚一条 各隊市中分散ハ規律立テ難キヨリ

- 起レリ 各隊説得ノタメ本陣へ出頭サレタシ〔返リ 野村〕私方へモ昨日ヨリ申出ル者アリ コノ件思イツキシコトアリ 委細ハ宮城へ話シ置クツモリ 昨夜来悪寒甚シ現在ノトコロハ静養イタシタシ
- 21 年 月一〇日 (宍戸ト木梨彦右衛門往復書翰)〔往キ 大戸〕御腹痛イカガ 芙蓉詩画才取り寄セクダサレ安心〔返リ 木梨〕昨日頑固連ヲ慰メラレ腹痛モ腹立チトナリシ程 腹痛快癒午後参堂スベシ
 - 22 明治元 (カ) 年 月八日 (木戸準一郎・宍戸三郎宛 野村素介・松原音三書翰) 諸隊ノ事少々半途 今日ノ各隊会議ノ趣承知 御懸念ノ筋諸隊ノコトナレバソノ必要ナカラシ
- 五、江村純一郎書翰
 - 1 年六月一三日 弥源太ノ氣付書供覽
 - 六、五代友厚書翰
 - 1 慶応二年二月二日 (城戸寛治・広沢藤右衛門宛) 今月中旬三田尻ニテ談判イタスベシ 黒田彦右衛門 小松・西郷出京 山宮・中御門・大原卿閉門 一橋・会津更ニ勢ヲ得タランニハ尊藩へ襲来ニモイタルベキカ
 - 七、広沢真臣書翰
 - 1 慶応三年一月二七日 小倉藩トノ懇親談判成立ハ喜ブベシ 同藩ノ困窮ハ唐津閣老ノ不所置ニ因ルトコロ 士民歎願書答礼芸使ノ来着迄ニ間ニアワセタシ 認メ方タノム 付、悔ミ状一通
 - 2 明治元年四月一九日 大垣藩小原二兵衛・菱田文蔵書翰ヲ福原清助ニ托シテ届ケル 太政官賜暇帰国イタシタシ
 - 3 明治三年五月二五日 嫡子健二海軍修業ノ希望願筋依頼 (下書)
 - 八、井上馨書翰
 - 1 明治四年一二月八日 静斎公一一日御出デ 御家内御一同来宅ヲ乞ウ 藩債一条至急才取り運ビ願ウ
 - 2 明治一〇年一〇月二七日 明日出発 二九日才出デクダサル由同所ニテ待ツ
 - 3 明治二二年六月三〇日 米年度予算減額講省折合一困難 大隈發議ノ紙幣主義ヲ正金主義ニナシ五千万円ノ外債案ハ諸參議諸卿反対 叡断ニヨリ節儉仰出ラレ為ニ異論起リ前途會計ノ目途立タズ政府維持策伊藤苦慮 竹添派遣内書ニテ御承知アラン魯ノ葛藤前二局ヲ結ビタシ 書訓状ニ基キ閑談ヲ望ム
 - 4 明治二二年八月三〇日 近時理財ノ困難ニハ伊藤ナド苦心 野二国会倫隆盛政府前途ノ方向立タズ困却 グラント氏ノ口氣モタシカメタ故顧慮ナク談判進メラレタシ 竹添・井上才役ニ立ツベシ 醇親王徒主戦ト恭親王徒和議トノ勝敗イズレカ 清魯ノ動向 山田ノウウサ
 - 5 明治一八年四月一〇日 招待状
 - 6 明治一九 (カ) 年二月二一日 (内蔵頭〔杉孫七郎〕宛) 宍戸邸招待先約アリ遅参伝達乞ウ
 - 7 明治二〇年一〇月二三日 鳥居坂移転完了御来宅ヲ待ツ 磯部御供ノ件二八日出発イタシタシ
 - 8 明治年一月一六日 明日貴族院ニテ議事日程ヲ変更 小沢男爵免官ノ上奏案議了ノ計略アリ 出席不揃ニ乗ゼラレザルヨウ 早日ニ御出席ヲ乞ウ 議案否決ニ至ラシメタイ
 - 9 明治 年七月一八日 御見舞ヲ謝ス 昨年来高輪別荘一件ニツキ御手数ヲ懸ケ無事落着有難シ
 - 10 明治 年三月三一日 御入用ノ英書勝之介取調ノ上御答工申スベシ 本日閑暇御来駕ヲ待ツ
 - 11 明治 年六月一一日 静斎公へ集案案内多謝出席イタスベシ
 - 12 明治 年一月一七日 少々頭痛ニテ内居中来宅ヲ待ツ
 - 13 明治 年八月五日 本日閑居御来種ヲ待ツ
 - 14 明治 年四月二二日 本日午後才出デヲ待ツ
 - 15 明治 年二月八日 昨日ハオ風邪ノ由オ快氣ナレバ御川邸へオ出ヲ待ツ
 - 16 明治 年七月二一日 一昨日ハ失敬 本日午後才出デヲ待ツ
 - 17 明治 年三月二〇日 内話ノ旨アリ本日午後三時頃御来駕ヲ乞ウ
 - 18 明治 年五月一八日 過日概略オ話シセシ事件ニツキ柏翁へ内談ノコト 明晩ゴ都合如何
 - 19 明治 年一月六日 仰越シノ人ノコトオ目ニカカッテオ話シシタイ オ暇ナレバ午後四時頃御来駕ヲ乞ウ
 - 20 明治年五月二二日 招待状
 - 21 明治年七月二四日 招待状
 - 22 明治年四月二〇日 招待状
 - 23 明治年一二月七日 招待状
 - 24 明治年一〇月五日 招待状
 - 25 明治年四月二日 招待状
 - 26 明治年七月八日 見舞礼状
 - 27 明治年七月二九日 招待謝絶
 - 九、井上毅書翰
 - 1 明治一四年一月三日 別紙翻訳英文一閱願イタシ
 - 2 明治一四年三月一七日 三綴書類届ケ状
 - 3 明治一四年 月 日 英公使ノ話ハ我ニ緊要探偵ノ手段考慮サレタシ
 - 一〇、伊丹重賢書翰
 - 1 明治五年三月二〇日 省中類焼者へ賞金 ブスケへ三百金礼金 後藤左院議長ト面会 左院ト当省 (司法省) ト事務協議ニツイテ
 - 一一、楢取素彦書翰
 - 1 慶応年 月一三日 (宍戸備後助・杉孫七郎宛) 昨日ハ失礼 来客アリ不参オ許シ乞ウ
 - 2 年 月一五日 風邪全快ニ至ラズタ方参上スベシ
 - 3 明治 年六月一四日 当分在国ノツモリ 荷物取纏メノ為メ用人ヲ上京サセン 御地ノ仔細御内報願イタシ
 - 一二、兼重讓蔵書翰
 - 1 明治 年六月八日 別紙届方依頼
 - 一三、柏村数馬書翰
 - 1 明治三年一二月一三日 (広沢兵助宛) 家児横浜出港前ノ書翰 写真落手 荷物幸便ニ送リ下サル由 外人教師備入レノ件貴諭ノ通り取計ヒ殿川一輔出張 福沢諭吉 村田峰二郎
 - 一四、加藤弘之書翰
 - 1 明治三年一二月二一日 (津田真一即宛) 田尻稻次郎留学ノ件
 - 一五、木戸孝允書翰
 - 1 明治三年 月 日 (宛名・署名ナシ) 京都ニテモ浮浪ノ者共久留米・秋田藩邸へ入り込ミオル由 御地モ取締肝要 広沢長屋住居ノ河村健蔵及ビ片野十郎ニ取締助勢依頼アルベシ
 - 2 明治七年三月一日 (志々門宛 氣門書翰) 橋爪云々直々申上クベシ 國中二氏昨夜来泊貴意伝工申スベシ
 - 一六、木梨彦右衛門書翰
 - 1 年 月八日 徳應僧昨日小田村訪問 先夜ノ噂小田村ヨリ同僧へ話セシ由
 - 一七、国司正介書翰
 - 1 慶応年八月一三日 (宍戸備後助・杉孫七郎宛 国司正介・諏訪湖介・茂岡時介書翰) 指月社奉能ニ関シ山口社御衣裳不出ノコト
 - 一八、国貞直人 (カ) 書翰
 - 1 明治 年 月三日 (広沢兵助宛) 近況消息
 - 一九、国貞廉平書翰

- 1 明治七年四月四日 墨翰旋
- 二〇、丸山作樂書翰
 - 1 明治 年五月二三日 保険会社進捗同慶 帝国道徳会明後日高島嘉右衛門別宅二集会ゴ出席ヲ乞ウ 西村茂樹・加藤弘之・中島錫胤・三好退蔵・安川繁成・渡辺玄包
- 二一、松村小介書翰
 - 1 年 月一六日 別書三本相届ケ公辺へ差出シ分文意適合 平野氏へ托書拜見 書中強硬論ハ不可 ソノ他
 - 2 年三月一〇日 (平野清八宛) 西下入京 御厄介御礼
 - 3 年 月一三日 (平野清八宛) 異国船打払ノ件岡部へお話アリヤ 模様判明ナレバオ伺イタシ
 - 4 年 月一日 (平野清八宛) 御返報承リタシ 本日仲橋へ出デアリヤ
- 二二、毛利元昭書翰
 - 1 明治三〇年四月二四日 毛利家歴史編纂所総裁ノ功勞感謝
 - 2 明治 年一〇月二八日 (毛利元昭・吉川重吉連署) 来旨承知
- 二三、毛利元徳書翰
 - 1 慶応元年一一月 日 激励書
 - 2 明治九年二月一〇日 元功身上ニツキ相談イタシタシ
 - 3 明治九年一〇月六日 一三日来会承知
 - 4 明治一一年八月九日 三郎以下ノ子女養育掛ニツイテ
 - 5 明治二八年四月一六日 (山県・井上・山田・穴戸宛) 小早川三郎相続人ノ件
 - 6 明治一七年一月九日 案内状
 - 7 明治一七年一〇月六日 懇親会招待状
 - 8 明治二一年六月六日 元功夫婦八日来宅ノ予定 同日カ翌九日御来駕ヲ乞ウ
 - 9 明治二八年二月一八日 毛利家政及ヒ財産上ノ相談方依頼
 - 10 明治 年七月二〇日 (穴戸・杉宛) 家事相談人ノ内華族名称ニツキ相談
 - 11 明治 年一一月六日 徳山ヨリノ人物詮議ノ件 薩州父子ノ官名通報依頼
 - 12 明治 年五月二八日 相談ノ件アリ来駕ヲ乞ウ
 - 13 明治 年八月二五日 (杉孫七郎宛) 久保銀行世話役新任ノ件 付、毛利元徳宛井上馨書翰 同伴二関スル井上意見一通
 - 14 明治 年二月三日 巢鴨別邸へ参上ノ件一二日好都合ナリ 雨天ナレバ延引スベシ
 - 15 明治 年四月二七日 徳山世子宛書翰認メタノテ取計イタノム
 - 16 明治 年 月 日 顔面雛形送付
 - 17 明治 年一二月六日 板橋ニテ諸兵操練天覧 三条卿モ供奉ノ由ヨッテ一一日来臨二決定
 - 18 明治 年九月三〇日 禄券制発令ニツイテ 尔後ノ家事取計イノ件
 - 19 明治 年 月 日 和歌
 - 20 明治 年二月八日 (木戸孝允・穴戸磯宛) 集会日変更通知
 - 21 明治 年二月一五日 来訪求ム
 - 22 明治 年八月七日 時懐
 - 23 明治 年一月二日 オ悔ミ状
 - 24 明治 年 月 日 長歌一首
- 二四、毛利登人書翰
 - 1 元治元 (カ) 年一〇月一五日 昨日君上ノ御内慮伺イ 君意ノ向ハセラルルトコナレバ片言ノ御採用アルマジ
 - 2 元治元 (カ) 年一〇月二日 儲君差出シノ文言中激語アレバ壯士輩ハ歓迎センモ少々心配ナレバ才氣ツキ点アレバ進言サルベシ
 - 3 元治元 (カ) 年一〇月二日 先日来ノ御苦心了察 儲君ノ意向ニヨルコトナレバ致方ナシ 上国向変リタルコトナシ 長州同意ノ諸藩才暇ヲ賜リタル由 大争乱ノ端ナルベシ
 - 4 年 五月二日 (虫食イ文意不明)
- 二五、村上兼之助書翰
 - 1 年六月二七日 近親消息
- 二六、村田峰次郎書翰
 - 1 明治二四年五月二日 (兼重慎一他三名宛) 忠正公神道碑文二関シテ
- 二七、長野右一郎書翰
 - 1 年一二月一〇日 私へ面会ゴ希望ノ由 其筋へ伺イノ上 明昼頃迄二都合オ知ラセ申スベシ
 - 2 年一二月二日 藩法ニテ辱知ヨリノ添状ナクテハ面会不能ノ定法 半七先生ノ御息ナリヤ 其筋へ達スベシ
- 二八、小川善右衛門書翰
 - 1 明治年一二月一九日 (広沢兵助宛) 木戸氏滞阪ノ折御地模様伝承 御下阪相成リ難キ由ニツキ柏村書翰廻付受取ラレタシ
- 二九、三条実美書翰
 - 1 明治四年一月一九日 広沢暗殺犯人探索督促
 - 2 明治六年九月一八日 皇子逝去埋葬地取調ノコト
 - 3 明治一七年一月一四日 (熾仁親王・三条実美連署) 新年祝賀会案内
 - 4 明治一八年五月一〇日 一四日御来駕ヲ乞ウ
- 三〇、佐藤信寛 (寛作) 書翰
 - 1 明治三年一二月二九日 着県マデノ日程 前知事真木直人ナオ在任 一昨年ノ隠岐騒擾始末急ギ裁決ヲ希望
- 三一、沢宣嘉書翰
 - 1 明治四年三月二六日 急拠公使館へ出張アレ
- 三二、島村久書翰
 - 1 明治 年五月二〇日 夫人着津北上ノ通知土産品御礼
- 三三、清水清太郎 (力) 書翰
 - 1 年 月一一日 途中御自愛 拜借ノ易便蒙行返却見合せノコト
- 三四、品川忠道書翰
 - 1 明治一四年七月一九日 水野良知帰滬 当館係負据付一条御尽力ニヨリ実現一同感謝 私賜暇帰朝ニツイテハ雇洋人ノ件モアリ次便乗船ノツモリ
 - 2 明治年一二月一三日 病氣見舞
- 三五、穴戸磯書翰
 - 1 嘉永五年七月五日 (両親宛) 在府近況報告
 - 2 慶応二年四月四日 御用済帰国届 (断簡)
 - 3 明治三 (カ) 年一月四日 (廉盟契宛) 中券一件探索 宿ニ藤村六郎・曾弥来蔵止宿 振武隊長意見デハ中村ト藤村ノ混同ナラン 藤村ハ振武隊後建武入隊ニツキ右ノ間違ナルベシ
 - 4 明治四年一月五日 (広沢真臣宛) 二見正則建言書送付 付、二見正則建言書并書翰 二通
 - 5 明治一五年八月二二日 (水野良知宛) 転勤ニ際シ手当支給ニツキ伺イ

- 6 年一〇月二日 (杉孫七郎宛 宍戸備後助・相原治人書翰) 御用出殿願ウ
- 7 明治 年 月一六日 (三泉宛 宍戸三郎・松原音三・野村素介書翰) 中谷托書拜見 干城隊ノコト諫早等出山ノ由御懸念ナキヨウ 中谷政府へ申立多事ノ折困却 ソノタメノ山県歸萩御疑念晴ラサレタシ
- 8 明治 年 月八日 (広沢真臣宛) 熊本藩村岡肇来訪 病氣ニツキ面会謝絶 広沢参議へ申出ルベク伝工置ケリ右ノ仁来訪セリヤ
- 9 明治 年一二月二日 (宍戸磯ト木戸孝允往復書翰) [往キ 宍戸] 本日ノハツ山集会欠席 [返リ 木戸] 自分モ欠席
- 10 明治年一二月二〇日 (杉宮内大輔宛) 出席通知
- 11 明治年七月九日 (杉内蔵頭宛) 別封送付
- 三六、杉孫七郎書翰
 - 1 明治二二年一月九日 昨年山陰山陽巡廻 土族困窮不平多シ 農民ハ豊作国会論盛ン岡山・高知・福岡特ニ盛ン 中野・藤田一条解決 岸田吟香 福原恭輔仔会社瓦解 ソノ他
 - 2 明治一三年六月二日 朱肉受取 有栖川宮モ所望 地所坪三四円ニ騰貴 別荘芝ニ入手 主上御巡幸ノコト 琉球一件泣寝入りリカ 当節物価騰貴農民富ミ町人小前ノ者困窮 殊ニ土族ノ将来懸念多シ 木戸正二郎 翠香夫人 新刻賀知草書ノコト 岸田吟香 黄遵憲ノ日本雜事詩 日本史
 - 3 明治二二年一二月一七日 魯支一条如何ナルベキ 魯水師提督 山田・野村・高輪邸 奥平死去 邸宅買入ノ件 近頃茶ノ湯流行 ソノ他京地模様
 - 4 明治一六年三月四日 ワシントンニテ寺島公使ヨリ伝聞事項 琉球事件ニ関シ清国情報ブランド氏 米韓条約批准日清争端ハ朝鮮ニ非ズシテ琉球ニアルベシ
 - 5 明治一六年五月三〇日 凶面至急調製差廻シ乞ウ 賢所・神嘉殿繩張御下命アリタシ
 - 6 年 月 日 福原内蔵之允同伴ノ件
 - 7 明治 年九月一四日 (杉孫七郎・柏村数馬連署) 三条公ヨリ知事様へ来翰 尊君東上要望ニ〇日飛脚船ニテ出発サレタシ
 - 8 明治 年五月二〇日 造営ノ儀言上御決裁ヲ仰ク日取り 実地見分ノコト及ビ造営地選定ニツイテ
 - 9 明治 年二月一四日 賢所造営ハ式部寮建議アリ見合セタシ
 - 10 明治 年八月一五日 松方大蔵卿伝言書回付 付、杉宮内大輔宛徳大寺実則書翰 一通 (八月一四日付) 松方伝言造営費決議ノ旨
 - 11 明治 年一〇月三日 造営費ノ件相談内閣迄出頭サレタシ 松方蔵相伝言
 - 12 明治 年一月一六日 造営絵図画天覧 二一、二日頃臨幸ノ予定
 - 13 明治 年一月一六日 橘献上ノ件承知
 - 14 明治 年三月一三日 所用ニテ高輪邸不参 例ノ一条猶予乞ウ
 - 15 明治 年八月一五日 矢島初会ノ模様 同僚麻疹ノ為メ帰京延期
- 三七、周布公平書翰
 - 1 明治 年四月一六日 亡夫碑文草案ニ対シ検閲依頼 付、贈正四位故長州参政周布君碑 蒟蒻版一枚
- 三八、竹中織部書翰
 - 1 慶応四年五月二八日 馳走兵賦五郎兵衛ナオ熟覧イタシタキ由 三等論遠貞ノ意見ニテハ馳走兵賦ノ令実施ノ後然ルベシ 三木・伊湊ノコト ソノ固辞ノ理由 借銀役料心付銀ノ支出増対策工夫アリタシ 蔵局ノコト越後戦況徳山出兵トナレバ困窮ナリ
- 三九、竹添進一郎書翰
 - 1 明治二二年一二月二一日 横字新聞ニ田辺・井上両書記官上海発赴津ノ報道アリ 太沽ニ間合せノ結果今朝太沽発ノ由今夕到着スベシ
- 四〇、田辺太一書翰
 - 1 明治一三年一二月二二日 井上氏同道天津着報告
- 四一、山田顕義書翰
 - 1 明治二二年一月七日 年頭ノ挨拶 近況消息
 - 2 明治一三年八月八日 清魯一条御心配ノコトナルベシ 蚕・麦作ハ上作 農ハ近頃有福人力車引ト窮士族等ガ困苦民権家輩ガ国会開設ナド唱エ 人心惑乱セシメ憤慨ニ絶エズ
 - 3 年 月二七日 (宍戸備後助・杉孫七郎宛) 出途激励
 - 4 明治 年一〇月二三日 出席通知
- 四二、山県有朋書翰
 - 1 明治一二年七月二二日 (代筆) 琉球廢藩置県ニ対シ清国ヨリ照会書来ル 清国ノ抗議ハ取ルニ足ラズ 回答書御覽済 ナラン李鴻章外国ニ仲裁依頼スベキカ 桂中佐内密ニ視察派遣スベシ
 - 2 明治二二年二月二〇日 (代筆) 参謀本部派遣支那語学生ノオ世話感謝 右取締人ノ日派遣スベシ
- 四三、安田長五郎書翰
 - 1 年一月一五日 年賀 近況消息
- 四四、横田勝三郎書翰
 - 1 年五月一三日 近況報知 付、横田おば書翰
 - 2 年八月九日 近況報知 付、横田おば書翰
- 四五、吉田吉五郎書翰
 - 1 明治元年一〇月 日 竹中添手紙報知書到来 政府連中ヘモ一見 兵賦出米 御馳走米一件難渋 大阪状着殿様・淡公着眼 御上京 京大阪豆板銀通用差留金札ノ沙汰 御親兵一件
 - 2 明治元年一二月一日 利下ケ米和商建一件治リ難シ 竹中一昨夕出徳 有福太郎始メ出勤セズ 伊藤湊脱走行方不明 安左衛門手張ニヨレバ兵隊ハ関東出張トノコトナレド京都ニテノ御沙汰ハ旧幕脱走ノ徒松前へ遁出ニツキ奥州へ出張ノコト ソノ他
 - 3 明治 年五月一日 (宍戸備後助・竹中織部宛) 有福太郎帰徳ノ理由 淡公御上京ニ関シ物入りノ引当テ相談 蔵元金子払底金繰リ困難 山名五兵衛
 - 4 明治 年五月二八日 出立前仰付ノ詮議修補銀局へ申付 愚案ニテ為造モ賛成貴覽ニ入レタシ 教学坊御馳走米ノコト ソノ他
 - 5 明治 年五月二九日 御出立前御申付ノ取調物昨日送付 竹中今曉帰省ノ後御用状着継送リヲ以テ廻送 政府ヨリ別紙示談アリ御滞徳中政府ヨリ示談アリシヤ 人数増ニヨリ一四両トナリ御仕組方文句ナシ
 - 6 明治 年六月四日 日夜才出テヲ待チイルトコロ 御帰耕ノ由イカナル理由ニヤ早々御出徳願ウ
- 四六、渡辺源五書翰
 - 1 嘉永五年八月一一日 家内消息
 - 2 年一二月七日 家事向私信
- 四七、不明
 - 1 年 月 日 書類返シ添状
 - 2 明治一六年九月八日 (宍戸宛 民治書翰) 志都岐山神社社務所建築ノ件 付、寄付依頼状
 - 3 年一〇月二八日 (宍戸宛 操処書翰) 就職斡旋依頼
 - 4 明治四年五月三〇日 (宍戸三郎宛 澁太郎書翰) 老公(敬親) 遺物御羽織及ビ海屋詩画送付
 - 5 年 月 五日 (偲々堂宛 南郵書翰) 今夕来駕依頼

- 6 年月一日 (吉翁宛 南郵書翰) 東方御書面拜見大事件ニツキ当地ヘノ影響御配慮願ウ 引続キ発令為サルベク穴戸君ノ來徳ヲ待ツ竹君一人ニテハ紛糾ノ懸念アリ
- 7 年月一三日 (山県宛某) 増上寺門前柳川ヘ參集乞ウ
- 8 慶応四年閏四月二日 (穴戸宛 雅二郎書翰) 上京希望斡旋ノ依頼
- 9 閏月不明日 (虫食) (敬字先生宛 不明) 世子君御帰山仰出ラレズ 梶原一一日帰山ノ筈
- 10 年四月一九日 (太八書翰) 時計直シノ件
- 11 年五月二日 (島田宛 頭) 婚儀打合せ

書類の部

○ 四八、維新関係

- 1 相州浦賀奉行ヨリ注進ノ写 異国船応接 弘化三年閏五月二八日 一通
- 2 書付写 皇国ノ御為メ松平大膳大夫父子ノ内一人出府周旋アルベキ依頼 一通
- 3 御内命写定広ヘ滞京周旋ノ内命 文久二年五月一日 一通
- 4 御直達書写 攘夷策建白 文久二年五月二日 一通
- 5 御内勅写 御下賜品達 文久二年五月七日 一通
- 6 勅諭並御内命之写 勅使下向三ヶ条ノコト 文久二年五月一三日 一通
- 7 上意并御書附之写 国事尽力アルベキコト 將軍取急ギ上洛アルベキコト 文久二年六月一日 一通
- 8 諸土中ヘ被仰渡候御書附写 幕府ヘ建白御採用將軍上洛 文久二年六月五日 一通
- 9 攘夷勅旨写 勅旨並ニ御沙汰 文久二年 一通
- 10 学習所ニテ中山ヨリ殿様ヘ直渡シノ御書附
 - イ、勅使関東ヘ差遣スニ付周旋アルベシ
 - ロ、長門守ヘ父同様周旋アルベシ
 - ハ、長井雅楽謗詞事件掛念ナカルベシ 文久二年七月一六日 三通
- 11 勅書并御沙汰書写 对馬藩ヘ攘夷勅書 沙汰書 文久三年一月 一通
- 12 御内勅与長州ヘイ、攘夷下勅对馬藩ノ国政士気留意スベシ ロ、对馬守辺ノ要地周旋イタスベシ 文久三年 二通
- 13 長軸写等送付添状 薩船砲撃ノ件 (文久三年一月二四日) 一綴
- 14 手控 豊浦沖漂着船ノ取扱イニツイテ 慶応二年 一通
- 15 薩・米〔久留米〕両藩交渉伝聞 一枚

○ 四九、第二次征長関係 I

- 1 毛利左京自判書写 三家老処分ニ関シ自判歎願 元治元年一月一日 一通
- 2 糺問使派遣ノ幕令 松平安芸守ヘ長州糺問ノタメ幕監派遣ノ達 慶応元年一月二七日 一通
- 3 穴戸備後助・穴戸備前ヘ藩命 慶応元年一月 一通
- 4 赤川又太郎出張命令 慶応元年一月 一通
- 5 内々演説 在芸使節ヨリ芸藩ヘ提出セル演説書案 慶応二年一月二日 一通
- 6 小笠原老岐守芸州派遣ノ幕府達写 毛利大膳父子伏罪ノ疑惑ニ関シ裁許申渡シ 慶応二年二月 一通
- 7 広島応接日録 小笠原閣老着芸後ノ広島応接重要事項 日記〔楯取素彦筆〕 慶応二年 一通
- 8 幕命写 三支侯・吉川堅物・家老等広島表ヘ出頭及ヒ穴戸備後助滞芸幕命 慶応二年二月 同文二通
- 9 演説手控 木梨進退照会 付、木梨帰藩勝手 (三月) 慶応二年二月二七日 二通
- 10 内演説手控 三支侯等出芸ノ幕命ニ対スル芸藩ヘ提出ノ演説書 慶応二年二月二八日 一通
- 11 請書広島表出頭ノ幕命ニ対シ 慶応二年三月 一通
- 12 届出書 毛利讃岐病氣ニ付広島表ヘ不参届 慶応二年三月 一通
- 13 広島表不参届 毛利左京 慶応二年三月 草案共三通
- 14 広島表不参届 毛利淡路 慶応二年三月 一通
- 15 陳情書 毛利左京 慶応二年三月 一通
- 16 演説書 広島表不参ニ関シ陳情書 慶応二年三月 二通
- 17 演説書 毛利讃岐 慶応二年三月 一通
- 18 内演説ニ対スル幕命 小笠原閣老ヨリ強而出頭スベキ旨芸藩經由ノ命令 慶応二年三月 一通
- 19 応接問答覚書 戸田肥後守家来横尾貞之助・岡田宗平・赤松六郎対小田村素太郎応接 慶応二年三月二七日 一通
- 20 応接覚書 慶応二年三月 一通

○ 五〇、第二次征長関係 II

- 1 幕命写 三支侯・吉川堅物・家老等ヘ再度広島表出頭ノ幕命 慶応二年四月 一通
- 2 広島表出頭請書 毛利左京 慶応二年四月 一通
- 3 内々演説 広島出頭日延ヘノ願書 慶応二年四月二日 草案共二通
- 4 内々演説 四月二日幕達ニ付芸迄差出シノ演説書 慶応二年四月二日 草案共二通
- 5 談話筆記 寺尾話頭 慶応二年四月三日 一通
- 6 談話筆記 寺尾話頭 慶応二年四月五日 一通
- 7 国泰寺出頭請書 毛利四家名代 慶応二年四月二九日 一通
- 8 届出書 毛利大膳家老中 第二奇兵隊脱走事件 慶応二年四月 一通
- 9 毛利大膳・毛利長門・毛利興丸ヘ達写幕府処罰ノ達 慶応二年五月 一通
- 10 毛利興丸ヘ家督ノ達写 慶応二年五月 一通
- 11 興丸家督ニ際シ幕府達 三支侯・吉川堅物・興丸家老宛 慶応二年五月 一通
- 12 興丸家督ニ際シ穴戸備前ヘ幕府達 慶応二年五月 一通
- 13 毛利淡路ヘ幕府達写 大膳父子御咎興丸家督ニアタリ宗家扶翼スベキノ達 慶応二年五月 一通
- 14 毛利淡路ヘ幕府達写 江戸屋敷追テ沙汰アルベシ 慶応二年五月 一通
- 15 毛利興丸ヘ幕令写 別紙高杉晋作桂小五郎等広島表ヘ差出スベシ 慶応二年五月 一通
- 16 広島ニ於ケル幽囚室概略図 慶応二年五月 一枚
- 17 小田村素太郎所持品目 一通
- 18 覚 穴戸・小田村身廻品目 慶応二年六月二五日 一通
- 19 覚 御軍事方 長防人民ニ対スル幕軍触書 慶応二年六月 木版 一枚
- 20 長防士民上表写 長州再征ニ対スル上表 一通
- 21 浜田侯ヘ達スル書 長防士民中 慶応二年六月 一通
- 22 大島口戦況見取図 慶応二年六月 一枚
- 23 浜田侯宛声明書 石州出張長防士民中 浜田藩止戦申入レニ対スル声明 慶応二年七月 一通
- 24 因州・備前両侯宛依頼書 石州出張長防士民中 浜田藩止戦ニ関シ周旋申入レ 慶応二年七月 一通
- 25 石州口報道 杉山七郎 (杉孫七郎)・水竜助 (滝弥太郎) 浜田藩久松・岡尻応接ノコト 慶応二年七月 一枚
- 26 上国向動静覚書 慶応二年九月 一通
- 27 意見書 小田村素太郎 侍夷目安 小倉処分 諸隊解体 慶応二年一月二二日 一通

- 五一、長州藩関係
 - 1 毛利家歴 一綴
 - 2 覚 公辺ヨリ預リ品目録 慶応年六月二五日 同文三通
 - 3 覚 半紙調達 八月 一通
 - 4 土風刷新ノ意見書 一綴
 - 5 御馳走・兵賦段分ケ 二通
 - 6 意見書ヲ徴スルノ告示 慶応四年五月九日 一通
 - 7 覚 粟屋内匠他四名兵備費用ノタメ禄返上ノ願 五月一〇日 一通
 - 8 覚 徳山藩役人名簿 一通
 - 9 家中総出仕達示次第〔徳山〕 一通
 - 10 藩内訓示〔毛利支藩ノ内〕 明治元（力）年 一通
- 五二、明治新政関係
 - 1 建議書 京都府ニ於テ評議ヲ乞フ書 明治元（力）年 一通
 - 2 百官将士ニ対スル勅書 明治二年一月四日 一通
 - 3 上書下書 恩賞拜辞 一枚
 - 4 規則 新政民治指針 一通
 - 5 位階表 一通
 - 6 参議ヘノ叡旨並ニ各参議担当割 一通
 - 7 全国高一覧 一通
 - 8 覚 京軒別割明細 一通
 - 9 収支決算高 明治元年 一綴
 - 10 諸費入用見込 明治二年 一通
 - 11 各省庁歳費 明治三（力）年 一通
 - 12 財政意見〔広沢真臣筆〕 一通
 - 13 建白書〔広沢真臣筆〕 財政逼迫ニアタリ要用金献上 人民告諭ノコト 一通
 - 14 会議々題五条 一通
 - 15 陸軍編制 軍務局 兵員 軍費高割 慶応四年閏四月 一通
 - 16 陸海軍費額 一通
 - 17 太夫士改正詮議大意〔広沢真臣筆〕 一通
 - 18 取締規則案〔広沢真臣筆〕 一通
 - 19 海外旅券規則 明治一一年二月二〇日 一綴
 - 20 弁官宛 広沢真臣進退伺 鶴田藩復禄御沙汰書石高相違ノ件 一〇月五日 一通
 - 21 金札弘通意見〔広沢真臣筆〕 一通
 - 22 建言書控〔広沢真臣筆〕 明治二年一月 一通
 - 23 職制变革反対意見書 広沢真臣 明治二年六月二七日 一通
 - 24 広沢真臣意見書草稿 金札発行意見 一通
- 五三、地方制度関係
 - 1 諸見附御門預リ各区取締所及東京府監察方等可心得箇条草按〔広沢真臣筆〕 一通
 - 2 意見書 府県政体 金札 商法司ニツイテ 明治元（力）年 一通
 - 3 郡県制意見書 明治二（力）年 一通
 - 4 新県版規則〔草案〕 民部官〔広沢真臣筆〕 一通
 - 5 県職制 規則〔広沢真臣朱筆書入〕 一通
 - 6 民部官規則〔草案〕〔広沢真臣筆〕 同文二通
 - 7 民部官職制 明治二年四月 一通
 - 8 地方取締心得 一通
 - 9 蝦夷開拓願 伊達藤五郎・石川大和・片倉小拾郎 一通
 - 10 大納言公宛 広沢兵助建議 蝦夷地開拓移住仙台内願ノ件 明治二年七月一―二日 一通
- 五四、宗教関係
 - 1 長崎ヨリ往復手續キ 長崎耶蘇教徒処置ノ件 明治二年 一通
 - 2 越中富山藩申渡 各宗派合寺ノ件 明治三年閏一〇月二七日 一通
 - 3 覚宝寺・妙誓寺宛 六条改正掛書翰 富山藩内寺院合併問題 ソノ他 明治三年一二月二二日 一綴
 - 4 書翰抜写 合寺 廢仏棄釈関係 明治三年一〇月 一通
- 五五、公使時代 I
 - 1 各国改約大意 同文二綴
 - 2 各国修約大意節略 一綴
 - 3 日本及大不列顛両国間通商及航海条約草案 一綴
 - 4 解任通知状 清国ニ対シ森有礼特命全權公使解任通知 明治一二年三月二二日 漢文写共二綴
 - 5 委任状漢文写 穴戸璣 特命全權公使 明治一二年三月二二日 一枚
 - 6 特命全權公使穴戸璣旅券 明治一二年三月二四日 一枚
 - 7 外務卿移北京駐ニ簡公使訓条 明治一二年七月一―六日 一冊
 - 8 日本領事館訓令及ビ附録 一綴
 - 9 支那条約改正照会 清国總理衙門ノ条約改定ニ関スル弁明 同文二綴
 - 10 Note and Entry of Protest of the Japanese ship ペン書 一綴
 - 11 各稿底 増加条約案 同漢文 日本対清国照会（明治二年三月九日）竹添進一郎李鴻章ト談話意見書 一綴
 - 12 外務卿井上馨宛 田辺太一報告 北京公使館事務報告 明治年一二月九日 一綴
 - 13 在清国公使館公信書翰〔田辺太一〕 清国ノ動向 琉球案件我方ノ対策具申 一綴
 - 14 穴戸駐清公使公信控 井上外務卿竹添領事宛 日清交渉ノ経緯 事務連絡 明治一三年四一―七月 一綴
 - 15 北京公使館公信控 在露西徳二郎書記官帰朝途次ノ行方探索ニツイテ 一枚
 - 16 特命全權公使穴戸璣旅券 明治一二年三月二四日 一枚
 - 17 特命全權公使穴戸宛 外務卿井上馨内訓条 増加条約商議ニ入ルベキコト 明治一三年六月二九日 一綴
 - 18 穴戸公使帰朝日記 御用掛中田敬義録 明治一四年一―二月 一綴
 - 19 旅行取止メ返納金額 明治一四年 一綴
 - 20 会計記録 三枚
 - 21 北京公使館備付書籍目録 明治一一年五月調 一綴
 - 22 西苑北海所見略記 頼川高清・中田敬義 明治一三年六月九日 一綴
- 五六、公使時代 琉球問題 II
 - 1 照会 琉球一件 日清交換公文写 明治二一―二年 一綴
 - 2 琉球一件交渉対話記録 外務卿寺島宗則ト清国公使何如璋及ビ英国公使・仏国公使トノ対話記録 明治一―一―二年 一綴

- 3 第二回春使琉球復命書 第二回春使琉球始末 松田道之 明治一二年二月一四日 一綴
- 4 琉球藩処分方法 明治一二年三月一日 一綴
- 5 総理衙門照会 明治一二年五月一〇日 活版 一冊
- 6 支那政府ノ抗論ニ対シテ我が日本ニ琉球島ヲ專領スベキ主権アル覺書 明治一二年七月 活版 一冊
- 7 ユー・エス・グラント書翰訳文 琉球問題調停ニ関シ在東京グラント將軍ヨリ清国政府ヘ送ラレタ書翰 一八七九年八月一
- 三日 一綴
 - 8 訳美前首領來信 在東京グラント將軍ヨリ清国政府ヘ送ラレタ書翰 一通
 - 9 全權公使穴戸磯宛 外務卿井上馨内訓条 琉球一件及ビ増加条約ノコト 明治一三年三月九日 一綴
 - 10 穴戸公使ヘ訓条 外務卿井上馨 琉球一件清国トノ商議ニ并理ノ全權ヲ委任ス 明治一三年三月九日 一綴
 - 11 日清会商交換照会控 琉球問題会商ニアツテ彼我交換セル照会ノ控 明治一三一年 一綴
 - 12 日清会商照会草案 明治一三年 一綴
 - 13 穴戸全權公使琉案復命書稿一、二 二冊
 - 14 節略二草稿 琉球一件及ビ増加条約 日清交渉節略 二綴
 - 15 日清会商交換公文控断片 六枚
 - 16 日本政府対清国照会草案 琉球問題日清会商ニ関スル件 一綴
 - 17 覺書 慶長一八年以降江戸時代琉球交渉ノ覺 二綴
 - 6 特命全權公使穴戸磯旅券 明治一二年三月二四日 一枚 18 特命全權公使穴戸宛 外務卿井上馨談判手續内訓状 琉球一件第二内訓 明治一三年四月 一綴
 - 19 琉球一件処理方針 閣裁ヲ経テ第二内訓ニ示サレタル方針 明治一三年四月一九日 一枚
 - 20 外務卿井上馨ト米國公使ビンガム往復書翰写 琉球問題ニ関シ米清交渉ニツイテノ照会応答 明治一三年四月一九、二〇日 一綴
 - 21 外務卿与清使晤談記略 明治一三年六月二八日 一綴
 - 6 特命全權公使穴戸磯旅券 明治一二年三月二四日 一枚 22 特命全權公使穴戸宛 外務卿井上馨訓条 琉球一件并理ノ全權ヲ委任ス 明治一三年六月二九日 漢文共二枚
 - 6 特命全權公使穴戸磯旅券 明治一二年三月二四日 一枚 23 委任状 穴戸琉球事件及ビ日清現行条約増加條款ノ全權 明治一三年六月二九日 一綴
 - 6 特命全權公使穴戸磯旅券 明治一二年三月二四日 一枚 24 特命全權公使穴戸宛 外務卿井上馨訓令 琉球一件ニ并増加条約ノ清国側調印延期ニ対シテ 明治一三年一月三〇日
- 一綴
 - 25 日清商議節略 琉球一件 付、増加条約底稿 明治一三年八月一八日一明治一四年一月一一日 一綴
 - 6 特命全權公使穴戸磯旅券 明治一二年三月二四日 一枚 26 并理球案始末 穴戸 明治一四年 五冊
- 五七、 広沢真臣關係
 - 1 滞京中御沙汰書其外覚 広沢兵助 慶応三一年 一通
 - 2 御即位献上目録 広沢兵助 慶応四年八月二七日 一綴
 - 3 并事宛 広沢真臣書翰 猶予願 明治元年一月一四日 一通
 - 4 辭職須草案 広沢兵助 慶応四年閏四月二五日 一通
 - 5 広沢真臣参与辭職願 (草稿) 一通
 - 6 賞典秩禄返還願 広沢真臣 明治元年 一通
 - 7 并事宛 広沢真臣 着京届 明治二年一月一日 一枚
 - 8 并官宛 広沢真臣書翰 永世秩禄御礼 明治二年一〇月三日 一通
 - 9 長沼申出 広沢關係ノ人名 一枚
- 五八、 雜一
 - 1 西遊雜稿草 滞崎日誌安政二一三年 一綴
 - 2 和歌 一枚
 - 3 和歌草稿 六枚
 - 4 詩 明治二〇年四月一五日 一枚
 - 5 春興 (詩) 一枚
 - 6 砂張水翻拝領状 穴戸三郎 明治五年五月 一通
 - 6 特命全權公使穴戸磯旅券 明治一二年三月二四日 一枚 7 穴戸家事向雜記 明治一三年 一綴
 - 6 特命全權公使穴戸磯旅券 明治一二年三月二四日 一枚 8 穴戸經歷談「防長史談会雜誌」二七号 明治四五年二月七日 発行所載 電子複写版七枚
 - 9 願書 井川太三 慶応三年一月 一通
 - 10 覺 鑄物師尾本七兵衛御取立テ願 慶応三年四月 一通
 - 11 覺 御六尺長七へ褒美状 一通
 - 12 願書 山名五郎兵衛・粟屋采雄 一通
 - 13 願書 境常次郎 一通
 - 14 明治三年 月割 一枚
 - 15 円庵寺間取函 一枚
 - 16 志都岐神社境内写真 三枚
 - 17 木戸公伝記編纂所 穴戸功男宛史料借用依頼 大正七年三月一二日 活版 二枚
 - 18 さよ一件墨附 安政四年 一枚
 - 19 断簡ソノ他 一袋
- 五九、 家系關係
 - イ 山県少介 号 周南
 - 1 山県少介宛 宍道外記書翰 勢代姫誕生 寛延四年五月一九日 一通
 - 2 山県少介宛 宍道外記書翰 勢代姫命名 寛延四年六月一二日 一通
 - 3 山県少介宛 宍道外記書翰 殿様重ノ字ヲ拜領 從四位下侍從叙任 寛延四年六月二五日 一通
 - 4 山県少介宛 宍道外記書翰 毛利重就家督相続ノ報知 宝暦元年四月二三日 一通
 - 5 山県少介宛 宍道外記書翰 殿様家督才礼言上ノ為メ御登城 毛利文之助長府毛利家相続 宝暦元年五月一七日 一通
 - 6 山県少介宛 横勘三郎書翰 今晚ノ講義明夕七ツ時延期ノ達 九月一日 一通
 - 7 山県少介宛 桂左近・宍道外記書翰 山県二郎右衛門ト松村文四郎娘トノ縁組許可 一一月一日 一通
 - 8 山県少介宛 宍道外記・乃美仁左衛門書翰 山県幸之進 桂四郎左衛門養子許可ノ達 一二月二一日 一通
 - 口 山県二郎右衛門 号 棠園 周南長子
 - 1 山県二郎右衛門宛 児玉三郎右衛門・梨羽頼母書翰 大組任命ノ達 一一月二一日 一通
 - ハ 山県少内
 - 1 山県少内娘縁組許可状 天明七年一〇月二五日 一枚
 - 2 渡辺太郎左衛門宛 佐世仁蔵他五名書翰 山県少内弟伊兵衛 馬屋原作右衛門養子許可 寛政三年二月二二日 一

通

- 3 山県少内宛 山吉十郎書翰 明倫館積菜任命 寛政四年八月七日 一通
 - 4 山県少内宛 御当職所書翰 藍島沖怪船出現赤間関ヨリ注進 同地出張ノ内意達 寛政五年十一月一三日 一通
 - 5 山県少内宛 国司市正・益田清之助書翰 御用出頭ノ達 一月二八日 一通
 - 6 山県少内 御手廻組側儒拜命 一通
 - 二 山県少次郎
 - 1 山県庄二郎宛 佐世仁蔵書翰 積菜典儀任命ノ達 天明元年二月七日 一通
 - 2 平川左右宛 山県少次郎書翰 屋敷修理届 十一月二日 一通
 - 3 山県庄次郎宛 西村吉左衛門書翰 小田村十吉病氣ニツキ積菜代行ノ達 二月七日 一通
 - ホ 山県半七号 太華
 - 1 山県半七 褒状 天保一三年四月 一通
 - 2 山県半七 他二〇名宛 清水清太郎・繁沢石見書翰 ■尉様無事江戸着ノ達 安政元年三月六日 一通
 - 3 山県半七 他一五名宛 佐世仁蔵・内佐渡書翰 主公江戸発駕ノ達 安政元年五月二八日 一通
 - 4 山県半七 絶一九名宛 繁沢石見書翰 殿様東上途中障リナキ由通知 九月二五日 一通
 - 5 山県半七 寛政元年二月 一通
 - 6 山県半七 講釈会裁許ノ達 一通
 - 7 山県半七 御召下御上下 拝領状 一通
 - 8 山県半七 洞春公（元就）年廻二際シ追慕詩歌提出方法達 六月 一通
 - 9 山県半七 遷座式典献官拜命 一通
 - 10 山県半七 遷座告文代作拜命 一通
 - 11 山県半七 遷座式典規模 一通
 - 12 山県半七 綿三抱 拝領状 一通
 - 13 山県半七宛 毛利元世書翰 年賀御礼 三月一日 一通
 - 14 山県半七宛 粟屋禎蔵書翰 忌中御免ノ達 五月二九日 一通
 - 15 山県半七宛 浦木工・井原大学・福原刑馬書翰 明倫館講番ヲ命ズ 九月二七日 一通
 - 16 山県半七宛 国司太郎左衛門書翰 御稽古ニツキ例刻出勤ノ達 九月二九日 一通
 - 17 山県半七宛 佐世之助・高勝五郎書翰 山県俊蔵江戸出張ノ達 四月七日 一通
 - 18 山県半七 隠居届届 一通
 - 19 山県半七 寛 病氣手重忤半蔵国許差下シノ達 九月 一通
 - 20 山県半七宛 不詳 消息 一月一五日 一通
 - 21 半七宛 茂書翰 家信 一月一五日 一通
 - 22 福田宛 静観堂書翰 静観堂号頂戴ノ所縁云々 一通
 - へ 山県竹太郎
 - 1 山県竹太郎宛 広沢書翰 備後助ヨリ依托ノ別封届状 四月二二日 一通
 - ト 山県半蔵
 - 1 山県半蔵宛 繁沢石見・志道安房書翰 熊谷吉十郎組所属達 八月二八日 一通
 - 2 山県半蔵宛 福原相模書翰 御内用上阪スベキノ達 八月二八日 一通
- 6 特命全権公使穴戸璣旅券 明治一二年三月二四日 一枚（附録）穴戸略年譜
- 文政一二年 一才
 - 三月一五日 長州藩士安田直温三男に生る幼名、辰三郎 名、子誠 通称、三郎
 - 嘉永元年 二〇才
 - 山県太華の養子と為る 通称、半蔵 諱、衡又直影 字、世■ 号、潮坪又敬字又巽庵
 - 安政元年 二六才
 - 幕吏に従って蝦夷地巡見
 - 安政二年 二七才
 - 一二月より翌三年にかけて長崎滞在
 - 文久二年 三四才
 - 九月一八日 半蔵京都より江戸へ帰り勅使三条副使姉小路東下の説を報ず 此の頃半蔵江戸詰
 - 文久三年 三五才
 - 一月一三日 半蔵久阪玄瑞と信州行 文久二年 一二月一〇日 江戸発水戸及び信州松代に至り佐久間象山に面会招聘の公意を伝う象山海外状勢攘夷実行すべからざる理由を説く
 - 元治元年 三六才
 - 一〇月一三日 半蔵 小納戸役免
 - 慶応元年 三七才
 - 六月六日 半蔵対幕詰問に答うる件々一三条草案を作る 疑対問答と称す
 - 六月二四日 半蔵広島差遣
 - 八月三日 侍儒山県半蔵・小田村素太郎功を以て家業を免じ 改めて平士に列せらる
 - 一〇月七日 半蔵名を穴戸備後助と賜い中老雇 井原主計 の副として広島に差遣 赤川又太郎他従者一三〇九日山口発 一五日岩国着 二二日広島着 二五日井原は公父子の意と称し帰国
 - 一二月二日 木梨彦右衛門を中老雇とし広島に遣り井原主計の帰藩の事情を報知
 - 二月一六日 幕府大目付永井毛水正 目附戸川鑄三郎 松野孫八の一行広島着
 - 一二月二〇日 国泰寺応接 幕吏永井主水正等穴戸備後助を訊問
 - 一二月三〇日 第二回国泰寺応接 木梨等広島着を以て 穴戸・木梨等国泰寺に至り幕吏と応接
 - 慶応二年 三八才
 - 一月四日 「長防士民合議書」藩政府に提出
 - 二月七日 小笠原閣老広島着
 - 五月一日 第三回国泰寺応接穴戸病いを以って出席せず
 - 五月九日 在芸穴戸備後助・小田村素太郎拘留せらる
 - 七月三日 穴戸備後助・小田村素太郎芸州より帰る
 - 七月六日 穴戸備後助 新知五百石 寄組 記録所役拜命（現務を除き直目附の事務を執る）
 - 明治二年 四一才
 - 一〇月一〇日 穴戸三郎（備後助改名）を家扶となす 山口学校大教授を兼ねしむ
 - 一〇月 任山口藩権大参事
 - 明治三年 四二才
 - 一〇月二四日 任刑部少輔 叙従五位
 - 明治四年 四三才
 - 二月二五日 新律刊布に付為御賞御末広下賜候事
 - 六月二五日 刑部少輔免

- 七月四日 制度取調御用被仰付候事
 - 七月九日 廢刑部省置司法省任司法少輔
 - 八月一、二日 制度取調御用被免候事
 - 十一月四日 任司法大輔
 - 一二月一、九日 叙從四位
- 明治五年 四四才
 - 五月二、二日 免本官御用滞在被仰付候事
 - 五月二、七日 任教部大輔
 - 一〇月二、五日 兼任文部大輔
- 明治六年 四五才
 - 九月二、七日 依願免兼官
- 明治七年 四六才
 - 三月一、九日 除服出仕
- 明治九年 四八才
 - 一月一、八日 御用弁の爲め毎日九時より一二時迄正院へ出勤可致事
 - 二月五日 来る明治一〇年一月大和及京都へ行幸に付供奉被仰付候事
- 明治一〇年 四九才
 - 一月一、一日 廢教部省
 - 一月一、二日 本年一月大和及京都へ行幸に付供奉被仰付置候処被免候事
 - 一月一、六日 任元老院議官 年給三、五〇〇円下賜候事
 - 六月一、四日 御用有之京都へ被差遣候事
 - 六月一、八日 御用有之山口県へ被差遣候事
- 明治一二年 五一才
 - 三月一、二日 任特命全權公使 清国在勤被仰付候事 清国在勤二等官年俸下賜候事
 - 三月二、六日 叙勲二等賜旭日重光章
- 明治一四年 五三才
 - 五月一、三日 歸朝
- 明治一五年 五四才
 - 八月一、二日 清国公使罷免 宮内省出仕
 - 八月一、七日 皇居御造宮事務局副總裁
- 明治一七年 五六才
 - 四月一、二日 参事院議官
- 明治一八年 五七才
 - 一二月二、二日 廢官 任元老院議官
- 明治二〇年 五九才
 - 五月 維新の功により子爵
- 明治二三年 六二才
 - 一〇月二〇日 廢官 錦鶏間祇候被仰付
 - 二月二、九日 貴族院議員
- 明治三四年 七三才
 - 一〇月一、日 歿
- 註、この年譜は主として百官履歴、防長回天史に拠る